

事務事業名 **総合的な環境保全の推進**

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部環境対策G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成 10 年度
施策	1	環境に配慮した暮らしの構築	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	環境保全意識の醸成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	環境教育の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 環境基本計画や環境配慮指針等に基づき、環境保全の推進を図ることを目的とする。

前回評価 **維持**

概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
子ども環境家計簿の取組率の向上 (目標取組率80%)

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
・小学生による「環境ポスター」の募集を行う。
・小学生による「子ども環境家計簿(夏休み・冬休みバージョン)」の取り組みについて、市内各小学校に依頼する。
・環境保全をテーマとした「環境講演会」を開催する。
・庁内におけるグリーン購入法に基づく環境物品の調達方針を策定する。
・し尿処理手数料等の改定に関する検討と、温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定作業を行う。
・マイバック等の持参によるレジ袋削減の取り組みを推進する。

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
環境基本法 地球温暖化対策の推進に関する法律、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律、登別市環境基本条例

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
市内小学生・市民・事業者

事業費(財源内訳)

名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金	千円					
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円					
一般財源	千円	532	93	852	389	844
合計		532	93	852	389	844

事務事業の成果・改善の状況

平成28年度

(実績を簡潔に記入してください)
市民、事業者、行政の協働により、環境保全の取組みを計画的に行った。
・小学生による「環境ポスター」の募集を行い、優れた作品について11月に表彰及び展示を行った。
・小学生による「子ども環境家計簿」の夏・冬休み中の取組み結果を市ホームページで公表した。
・自然保護をテーマとした「環境講演会」を1月に実施した。
・平成28年度の庁内におけるグリーン購入法に基づく環境物品等の調達方針を策定した。
・し尿処理手数料等の改定や温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定に関する登別市環境保全審議会、登別市環境保全市民会議、登別市環境保全政策推進会議を開催した。
・マイバック等の持参によるレジ袋削減の取組等を実施した。

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
子ども環境家計簿の取組率(全児童数に対する取組児童数の割合)	%	63	66	77	78	80

課題等の状況

平成28年度

(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
・子ども環境家計簿に取り組んでいない児童に対する普及・周知が課題となった。

評価

【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
継続	市民・事業者・行政の協働により、環境保全の取り組みを行う。 ・小学生による「環境ポスター」の募集や「子ども環境家計簿(夏休み・冬休みバージョン)」の取り組みについて、市内各小学校に依頼する。 ・環境保全をテーマとした「環境講演会」を開催する。 ・庁内におけるグリーン購入法に基づく環境物品の調達方針を策定する。 ・マイバック等の持参によるレジ袋削減の取り組みを推進する。	目標 子ども環境家計簿の取組率の向上(目標取組率80%) 計画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・取組率の向上に向け、各小学校を通じ事業の普及・周知を行う。
【2次評価】	行政評価会議及び総合	
継続		
【3次評価】		
継続		

事務事業名 環境に配慮した消費行動の推進

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部環境対策G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	環境に配慮した暮らしの構築	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	環境保全意識の醸成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	環境に配慮した消費行動の啓発	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	環境にやさしい製品の普及啓発等を推進することにより、市民が環境保全に対する理解を深め、環境に配慮した生活を実践することを目的とする。	前回評価	
----	--	------	--

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 環境にやさしい製品の普及啓発等を推進することにより、環境に配慮した生活を実践してもらう。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・「登別市ごみの発生・排出抑制と再生利用の行動指針」を市ホームページに掲載するとともに、クリンクルセンターに本資料を設置する。 ・「グリーン購入法に基づく市の環境物品等の調達方針」を定めることで、市が率先して環境にやさしい製品を使用する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円						
合計				0	0	0	0	0

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・「登別市ごみの発生・排出抑制と再生利用の行動指針」を市ホームページに掲載するとともに、クリンクルセンターに本資料を設置した。 ・「平成28年度グリーン購入法に基づく市の環境物品等の調達方針」を定めて、市が率先して環境にやさしい製品を使用するよう周知した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・普及啓発の手法についてより効果的な方法を検討する必要がある。
-----------------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・施設見学及びイベント等を活用して、普及啓発に努める。	目標 環境にやさしい製品の普及啓発等を推進することにより、環境に配慮した生活を実践してもらう。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・「登別市ごみの発生・排出抑制と再生利用の行動指針」を市ホームページに掲載する。また、クリンクルセンターに本資料を設置する。 ・「グリーン購入法に基づく市の環境物品等の調達方針」を定めることで、市が率先して環境にやさしい製品を使用する。
【3次評価】	継続		

事務事業名 電気自動車普及促進事業

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部環境対策G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成 26 年度
施策	1	環境に配慮した暮らしの構築	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	環境保全活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	地球温暖化対策の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	電気自動車の普及促進を図ることにより、地球温暖化防止及び低炭素化社会の実現を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 電気自動車の周知・啓発活動を行うことにより、電気自動車の普及促進を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・リサイクルまつりでの電気自動車の展示を行う。 ・広報紙や市ホームページなどへ電気自動車用急速充電器の設置について掲載する。 ・本市で導入した電気自動車及び急速充電器の適正な維持管理を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他	充電器設置加盟店契約に基づく権利金	千円		633		497	500	558
一般財源		千円		1,011	1,111	826	616	625
	合計			1,644	1,111	1,323	1,116	1,183

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・本市で導入した電気自動車及び急速充電器の適正な維持管理を行うとともに、電気自動車の普及促進のため、広報紙や市ホームページなどへの掲載のほか、リサイクルまつりでの電気自動車の展示など、周知・啓発活動を行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		急速充電器利用実績	件	-	14	89	134	180

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・急速充電器利用実績が増加するよう、今後の周知・啓発活動を検討する。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・今後の周知・啓発活動を検討する。	目標 電気自動車の周知・啓発活動を行うことにより、電気自動車の普及促進を図る。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・リサイクルまつりでの電気自動車の展示を行う。 ・広報紙や市ホームページなどへ電気自動車用急速充電器の設置について掲載する。 ・本市で導入した電気自動車及び急速充電器の適正な維持管理を行う。
【3次評価】	継続		

事務事業名 温暖化対策実行計画（区域施策編）策定事業

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部環境対策G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成 28 年度
施策	1	環境に配慮した暮らしの構築	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	環境保全活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	地球温暖化対策の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市民、事業者と連携し、地域特性に応じた温暖化対策を総合的・効果的に推進することを目的とする。	前回評価
----	--	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 平成28年度中に温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・計画素案を作成する。 ・登別市環境保全政策推進会議及び登別市環境保全市民会議での協議を行い、計画案を作成する。 ・計画案を登別市環境保全審議会へ諮問し、答申を了する。 ・計画案に係る意見公募（パブリックコメント）を実施する。 ・出された意見等を踏まえ、計画を策定する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 環境基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律、登別市環境基本条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内全域

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		-	-	2,592	2,484	0
合計				0	0	2,592	2,484	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・平成29年度から平成42年度までの14年間を計画期間とし、平成42年度における二酸化炭素の総排出量を、基準年度（平成25年度）比26.0%の削減目標とする、本市全域を対象地域とした温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
--------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	終了	・本市全域の二酸化炭素排出量の削減に向けて、本計画の普及・周知を行っていく。	目標
	平成28年度	行政評価会議及び総合	計画
	【2次評価】		
【3次評価】	終了		
終了			

事務事業名 **公害対策事業**

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部環境対策G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	昭和 63 年度
施策	1	環境に配慮した暮らしの構築	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	環境保全活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	公害監視体制の強化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 市民がきれいで住み良いまちづくりの実現に向けて、安全安心な生活環境を維持することを目的とする。

前回評価 **維持**

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 公害の発生を未然に防止する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・河川水質調査 登別川、サト岡志別川：年3回 上記以外の9河川：年2回 ・ダイオキシン類大気測定調査：年2回	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 環境基本法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法、土壌汚染対策法、ダイオキシン類対策特別措置法、登別市環境基本条例、登別市公害防止条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		1,287	1,262	1,311	1,152	1,272
合計				1,287	1,262	1,311	1,152	1,272

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市内の河川の水質調査を実施した。 【調査実績】 ・登別川：年3回 ・サト岡志別川：年3回 ・上記以外の9河川：年2回 大気中のダイオキシン類測定分析調査を実施した。 【調査実績】 ・測定場所：幌別中学校グラウンド ・測定回数：年2回						
	指標		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	公害苦情発生件数		件	5	19	19	8	0

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・調査結果を基に、市民の安全安心のために測定調査の回数を検討したい。
--------	--------	--

評価	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
【1次評価】	担当グループ	目標
継続	・今後も公害を未然に防止するため、測定調査を継続していく。	公害の発生を未然に防止する。
		計画
【2次評価】	行政評価会議及び総合	・河川水質調査 登別川、サト岡志別川：年3回 上記以外の9河川：年2回 ・ダイオキシン類大気測定調査：年2回
【3次評価】		
継続		

事務事業名 自動車騒音常時監視業務

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部環境対策G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成24年度
施策	1	環境に配慮した暮らしの構築	終了年度	平成—年度
基本的な方向	2	環境保全活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	公害監視体制の強化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	自動車騒音常時監視を円滑に行い、沿道地域で生活する市民に直接影響のある市内の自動車騒音の実態を把握することにより、騒音の未然防止に寄与することを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 沿道地域における自動車騒音の実態を把握する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 道路に面する地域の自動車騒音や交通量等の測定及び測定値から個別の住居等がどの程度影響を受けるかの評価（面的評価という）を委託。 【事業内容】 ・自動車騒音レベル測定：2路線・2箇所 ・面的評価区間：5路線・5区間	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 騒音規制法、登別市公害防止条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民

事業費（財源内訳）	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	2,247	2,160	2,522	2,376	2,528
	合計		2,247	2,160	2,522	2,376	2,528

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 道路に面する地域の自動車騒音や交通量等の測定及び測定値から個別の住居等がどの程度影響を受けるかの評価（面的評価という）を委託した。 【事業内容】 ・自動車騒音レベル測定：2路線・2箇所 ・面的評価区間：5路線・5区間				
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績
		調査計画の達成率	%	100	100	100

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・自動車騒音常時監視業務の実施計画書に基づいた調査を実施している。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・自動車騒音常時監視業務の実施計画書に基づき、調査を実施する。	目標 沿道地域で生活する市民のため、自動車騒音の実態を把握する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 道路に面する地域の自動車騒音や交通量等の測定及び測定値から個別の住居等がどの程度影響を受けるかの評価（面的評価という）を委託。 【事業内容】 ・自動車騒音レベル測定：2路線・2箇所 ・面的評価区間：3路線・4区間
【3次評価】	継続		

事務事業名	野犬掃討等業務委託事業
-------	-------------

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部環境対策G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成 13 年度
施策	1	環境に配慮した暮らしの構築	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	環境保全活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	5	生態系の保全	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	狂犬病の蔓延を未然に防ぎ、公共衛生の向上を図るとともに、野犬の掃討、蜂やカラスの巣の駆除などを行うことにより、市民の安全な生活を確保することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 狂犬病予防注射の接種率の向上及び野犬掃討、蜂やカラスの巣の駆除における迅速な対応	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・狂犬病予防注射の接種率の向上については、飼主全員に対して予防注射の案内書を送付し、市内一円で狂犬病予防注射集合実施を行う。 ・その他各駆除等の問い合わせについては、その都度迅速な対応を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 狂犬病予防法、登別市畜犬取締及び野犬掃とう条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他	狂犬病予防注射済票交付手数料、畜犬登録事務手数料	千円		1,637	1,421	1,495	1,449	1,425
一般財源		千円		7,529	7,632	5,540	4,571	5,625
	合計			9,166	9,053	7,035	6,020	7,050

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 畜犬の登録、狂犬病の予防注射集合実施、野犬の掃討、蜂やカラスの巣の駆除等を行った。 【事業内容】 ・畜犬の登録及び狂犬病予防接種 畜犬登録数2,410頭（うち、予防接種数1,760頭） ・野犬掃討等 野犬捕獲数 9頭、小動物死骸処理数 71件、カラスの巣の駆除数 46件、蜂の巣の駆除数 6件 蜂の巣の駆除経費について、近隣市町の様態等を参考に検討した結果、所有者自らの責任の下、自己負担で駆除を行うこととなった。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		狂犬病予防注射接種率	%	75	76	74	73	100
		犬の苦情処理件数	件	6	9	4	4	0

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・狂犬病予防注射の接種率を向上させるため、周知方法等について検討を行う。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・畜犬登録等の啓発及び狂犬病予防注射の接種率向上に努めていくとともに、市民の安全安心な生活を確保するため、野犬の掃討、カラスの巣の駆除などに努めていく。	目標 狂犬病予防注射の接種率の向上及び野犬掃討、蜂やカラスの巣の除去における迅速な対応
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ・狂犬病予防注射の接種率の向上については、飼主全員に対して予防注射の案内書を送付し、市内一円で狂犬病予防注射集合実施を行う。 ・その他各駆除等の問い合わせについては、その都度迅速な対応を行う。
【3次評価】	継続		

事務事業名 登別市衛生団体連合会運営事業補助金

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部環境対策G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	昭和 59 年度
施策	2	循環型社会の構築	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	廃棄物の減量	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	ごみの排出抑制の普及啓発とその実践強化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	公衆衛生の向上やリサイクルの啓発等に取組む団体の活動を支援することにより、清潔で住みよいまちづくりを進めるとともに、循環型社会の構築を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 清潔で住みよいまちづくりを進めるとともに、循環型社会の構築を図るため、公衆衛生に対する理解やリサイクル啓発等の意識向上の促進に努めていく。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・クリーン作戦（春・秋） ・クリーンリーダー委嘱 ・研修事業（クリーンリーダー地区別研修会、クリーンリーダー先進都市視察研修） ・衛団連だより発行（団体の活動実績等を掲載して町内会で回覧） ・環境啓発活動の実施（不法投棄・ポイ捨て・犬のふんの放置防止の街頭啓発、リサイクルまつり、登別消費生活展） ・表彰（登別市衛生団体連合会会長表彰）	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市廃棄物の再利用及び処理に関する条例、登別市補助金等の事務取扱に関する規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市衛生団体連合会

事業費（財源内訳）	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	500	500	500	500	500
合計			500	500	500	500	500

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 【衛生団体連合会の活動内容】 ・クリーン作戦（春・秋） ・クリーンリーダー委嘱 ・研修事業（クリーンリーダー地区別研修会：4会場を実施・出席者数132名、クリーンリーダー先進都市視察研修：参加者数30名） ・衛団連だより発行（団体の活動実績等を掲載して町内会で回覧） ・環境啓発活動の実施（不法投棄・ポイ捨て・犬のふんの放置防止の街頭啓発、リサイクルまつり、登別消費生活展） ・表彰（登別市衛生団体連合会会長表彰：個人13名）					
	指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	クリーン作戦によるごみの回収量（燃やせないごみ）	kg	5,670	4,520	4,010	5,350	5,350
	クリーンリーダーの委嘱人数	人	402	401	364	372	372

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・クリーンリーダーの委嘱人数が減少傾向にあるため、町内会の協力を得ながら現状を維持していく必要がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	今後も登別市衛生団体連合会の活動を支援していく。	目標 清潔で住みよいまちづくりを進めるとともに、循環型社会の構築を図るため、公衆衛生に対する理解やリサイクル啓発等の意識向上の促進に努めていく。 計画 ・クリーン作戦（春・秋） ・クリーンリーダー委嘱 ・研修事業（クリーンリーダー地区別研修会、クリーンリーダー先進都市視察研修会） ・衛団連だより発行（団体の活動実績等を掲載して町内会で回覧） ・環境啓発活動の実施各種事業への参加（不法投棄・ポイ捨て・犬のふんの放置防止の街頭啓発、リサイクルまつり、登別消費生活展） ・表彰（登別市衛生団体連合会会長表彰）
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
【3次評価】	継続		

事務事業名	リサイクルまつり
-------	----------

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部環境対策G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成 13 年度
施策	2	循環型社会の構築	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	廃棄物の減量	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	ごみの排出抑制の普及啓発とその実践強化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	ごみの減量化やリサイクルに関する普及啓発を行うことにより、循環型社会の構築を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要 Plan	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) ごみの減量化やリサイクルに関する体験等を行うことにより、来場者にごみの減量化等に関する普及啓発を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・イベントの計画を運営委員会と共に行い、リサイクルまつりを実施する。 ・広報紙、市ホームページ等により事前周知を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民及び白老町民

事業費(財源内訳) Plan ↓ Do	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他	一般廃棄物広域処理白老町負担金	千円			17	17	21
一般財源		千円	61	59	44	39	52
	合計		61	59	61	56	73

事務事業の成果・改善の状況 Do	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) クリンクルセンターでリサイクルまつりを開催した。 【イベント内容】 フリーマーケット、スプレー缶の穴開け体験、生ごみ処理機の展示、再生展示品の抽選会、昔の遊び体験、燃料電池自動車のラジコン、堆肥化製品の無料配布、繊維リサイクル、紙すき・絵手紙づくり体験、環境家計簿体験、電気自動車の展示・試乗会、水切りネットの実演、古布作品展、マイバック展等						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	来場者数	人	2,100	2,000	2,000	3,000	3,000	
	フリーマーケット出店数	店	33	30	30	33	33	

課題等の状況 Check	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・来場者にイベントの趣旨が伝わるよう、イベント内容の検討を行う。
-----------------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	改善	来場者等への安全を十分に確保したうえで、まつりを開催する。	目標 ごみの減量化やリサイクルの体験等を行うことにより、来場者にごみの減量化等に関する普及啓発を行う。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・イベントの計画を運営委員会と共に行い、リサイクルまつりを実施する。 ・広報紙、市ホームページ等により事前周知を行う。
改善	【3次評価】	事業の実施に当たっては、更なる安全管理に努めること。	
改善			

事務事業名 **ごみ袋管理経費**

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部環境対策G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成 11 年度
施策	2	循環型社会の構築	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	1	廃棄物の減量	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	ごみの排出抑制の普及啓発とその実践強化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	ごみ袋取扱店の適正配置及び適正な在庫管理を行うことにより、ごみ袋の販売を確実に行う。	前回評価
----	--	------

概要 Plan	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) ごみ袋取扱店の適正配置及び適正な在庫管理を行うことにより、ごみ袋の販売を確実に行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・ごみ袋の製作、保管、取扱店への搬送等を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市廃棄物の再利用及び処理に関する条例、登別市廃棄物の再利用及び処理に関する条例施行規則	対象 市民

事業費(財源内訳) Plan↓Do	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他	ごみ処理手数料	千円	34,663	29,950	33,143	28,691	33,469
一般財源		千円					
	合計		34,663	29,950	33,143	28,691	33,469

事務事業の成果・改善の状況 Do	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・ごみ袋の製作、保管、取扱店への搬送等を行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		ごみ袋制作の達成率	%	100	100	100	100	100

課題等の状況 Check	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・適正に在庫管理を行っている。
-----------------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・今後もごみ袋の販売状況を適宜確認して、適正な在庫管理を行う。	目標 ごみ袋取扱店の適正配置及び適正な在庫管理を行うことにより、ごみ袋の販売を確実に行う。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・ごみ袋の製作、保管、取扱店への搬送等を行う。
【3次評価】	継続		

事務事業名 **ごみ減量化推進事業（リサイクルの状況）**

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部環境対策G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成 11 年度
施策	2	循環型社会の構築	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	廃棄物の有効利用	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	リサイクルの普及啓発とその実践強化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	ごみの減量化やリサイクルに関する啓発を行うことにより、循環型社会の構築を図ることを目的とする。	前回評価	改善
----	---	------	-----------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) ごみの減量化やリサイクルに関する啓発	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・びん及びペットボトルの再商品化を委託により実施する。 ・不用品ダイヤル市を委託により実施する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律、登別市廃棄物の再利用及び処理に関する条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		787	763	691	654	722
	合計			787	763	691	654	722

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) クリングルセンターのリサイクルプラザを情報発信の拠点として、リサイクルに対する意識向上を図った。容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律に基づき、資源ごみ（びん・ペットボトル）の再商品化を行った。また、不用品ダイヤル市を実施した。 【事業実績】 再商品化（びん552t、ペットボトル124t）、不用品ダイヤル市業務委託（登録件数103件、成立件数40件）、パソコンの回収ボックスをクリングルセンターに設置（8t）						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		不用品ダイヤル市による成立件数	件	50	57	58	40	40

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・不用品ダイヤル市については、減少傾向にあることから、今後の事業の必要性について検討する。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	改善	・不用品ダイヤル市については、減少傾向にあることから、今後の事業の必要性について検討する。	目標 ごみの減量化やリサイクルに関する啓発
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・びん及びペットボトルの再商品化を委託により実施する。 ・不用品ダイヤル市を委託により実施する。
【3次評価】			
改善			

事務事業名 **ごみ減量化推進事業（資源ごみの回収）**

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部環境対策G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成 12 年度
施策	2	循環型社会の構築	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	廃棄物の有効利用	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	リサイクルの普及啓発とその実践強化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	資源の有効活用の促進及びごみ減量化の啓発を行うことにより、循環型社会の構築を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	-----------

概要 Plan	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民によるごみの減量や再資源化の取組を促進する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・資源回収団体奨励金支給事業を実施する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市資源回収団体奨励金支給要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 町内会、子供会等の登録団体

事業費(財源内訳) Plan↓Do	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	4,500	4,096	4,500	4,006	4,500
	合計		4,500	4,096	4,500	4,006	4,500

事務事業の成果・改善の状況 Do	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 新聞紙や金属類、びんなど、再商品化や再利用が可能な資源の回収を行う町内会や子供会などの登録団体に対して、回収量に応じて奨励金（3円/kg）を支給した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	資源回収団体数	団体		84	85	85	85	85
	資源回収量	t	1,398	1,382	1,366	1,336	1,336	

課題等の状況 Check	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・資源回収量が減少傾向にあることから、回収量を維持できるよう啓発をしていく。
-----------------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・資源回収団体及び資源回収量の維持を図る。	目標 市民によるごみの減量や再資源化の取組を促進する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・資源回収団体奨励金支給事業を実施する。
【3次評価】			
継続			

事務事業名 **ごみステーションネット化推進事業補助金**

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部環境対策G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成 10 年度
施策	2	循環型社会の構築	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	一般廃棄物の適正処理	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	ごみ処理施設の適正な維持管理の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	ごみステーションのネット化を促進することにより、美観、衛生、交通安全、収集効率の向上を図ることを目的とする。	前回評価	廃止
----	--	------	-----------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) ごみステーション周辺の衛生環境維持、ごみ収集の効率化を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・ごみステーションをネット化する町内会に助成を行う登別市衛生団体連合会に対して、助成に要する経費を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市廃棄物の再利用及び処理に関する条例、登別市ごみステーションネット購入費補助金交付要綱、ごみステーション設置管理に関する要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市衛生団体連合会

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		104	97	104	80	104
	合計			104	97	104	80	104

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ごみステーションをネット化する町内会に助成を行う登別市衛生団体連合会に対して、助成に要する経費を補助した。 ※助成額：1枚につき1,300円（助成見込数80枚） ・助成町内会 14町内会						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		購入補助したネットの枚数	枚	68	48	74	61	80

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・本事業の目的を一定程度達成できたと判断し、平成30年度をもって廃止する予定である。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	廃止	・本事業の目的を一定程度達成できたと判断し、平成30年度をもって廃止する予定である。	目標 ごみステーション周辺の衛生環境維持、ごみ収集の効率化を図る。
	平成30年度 【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・ごみステーションをネット化する町内会に助成を行う登別市衛生団体連合会に対して、助成に要する経費を補助する。
【3次評価】	廃止	廃止	

事務事業名 **ごみ収集運搬業務委託事業**

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部環境対策G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成 12 年度
施策	2	循環型社会の構築	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	一般廃棄物の適正処理	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	ごみ処理施設の適正な維持管理の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	家庭ごみの収集を効率的に実施することにより、適正なごみ処理を行い、良好な生活環境の維持を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	-----------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 家庭ごみ収集カレンダーに基づき、確実に収集を行うことにより、適正なごみ処理を行い、良好な生活環境の維持を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 家庭から出される「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」「有害ごみ」の収集・運搬業務を委託する。 ・収集回数：「燃やせるごみ」（週2回）、「燃やせないごみ」・「有害ごみ」（月2回）、「資源ごみ」（週1回）、「粗大ごみ」（年2回） ※収集回数は一部の地区で異なる	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市廃棄物の再利用及び処理に関する条例、ごみステーション設置管理に関する要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) ごみ収集業務を行うことができる法人

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		132,300	129,212	129,212	129,212	129,212
	合計			132,300	129,212	129,212	129,212	129,212

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 家庭から出される「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」「有害ごみ」の収集・運搬業務を委託した。 【事業実績】 ・ごみステーション数：1,708か所 ・収集日：月曜日～土曜日 ・収集回数：収集回数：「燃やせるごみ」（週2回）、「燃やせないごみ」・「有害ごみ」（月2回）、「資源ごみ」（週1回）、「粗大ごみ」（年2回） ※収集回数は一部の地区で異なる						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		家庭系一般廃棄物収集量（年間）	t	10,817	10,499	10,388	10,244	10,039

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・概ね順調にごみ収集運搬業務がなされている。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・今後も適切な収集ルート確保及びごみステーションの適正配置に努める。	目標 家庭ごみ収集カレンダーに基づき、確実に収集を行うことにより、適正なごみ処理を行い、良好な生活環境の維持を図る。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・家庭から出される「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」「有害ごみ」の収集・運搬業務を委託する。
【3次評価】		継続	

事務事業名 クリンクルセンター運営管理経費及び最終処分場運営管理経費

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部環境対策G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成12年度
施策	2	循環型社会の構築	終了年度	平成—年度
基本的な方向	3	一般廃棄物の適正処理	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	ごみ処理施設の適正な維持管理の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	クリンクルセンター及び最終処分場で廃棄物の適正な処理を行うことにより、生活環境の保全及び循環型社会の構築を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) クリンクルセンター及び最終処分場の適正な管理	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・各施設について、維持管理計画書に基づき適正な管理を行う。 ・毎月白老町及び関連業者と安全な施設運営を行うため、安全衛生推進会議を行い、施設運営に関する情報共有をする。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 循環型社会形成推進基本法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) クリンクルセンター、最終処分場

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金			千円					
地方債			千円					
その他	ごみ処理手数料、ごみ処分手数料等		千円	282,045	292,309	281,366	277,298	280,728
一般財源			千円	396,275	338,290	356,871	337,312	362,623
	合計			678,320	630,599	638,237	614,610	643,351

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) クリンクルセンターで焼却、破碎処理等を行った後、最終処分場に埋め立て処分を行った。 【事業実績】 ・クリンクルセンター運営管理経費 569,960千円 ・最終処分場運営管理経費 44,650千円 ごみ処理手数料及びごみ処分手数料の見直しの検討を行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	年間ごみ処理量	t	19,006	23,610	24,502	23,750	23,334	
最終処分場の年間埋立て量	t	2,512	2,298	2,111	2,028	1,906		

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・今後も施設の効率的な維持管理の検討が必要である。 ・老朽化に伴う建屋等の補修費増加が懸念される。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	今後も引き続き各施設の適正な運営を行う。	目標 クリンクルセンター及び最終処分場の適正な管理
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ・各施設について、維持管理計画書に基づき適正な管理を行う。 ・毎月白老町及び関連業者と安全な施設運営を行うため、安全衛生推進会議を行い、施設運営に関する情報共有をする。
【3次評価】	改善	手数料の見直しも含め、今後の施設のあり方について検討すること。	
改善			

事務事業名 クリンクルセンター中間改修事業

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部環境対策G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成 22 年度
施策	2	循環型社会の構築	終了年度	平成 一 年度
基本的な方向	3	一般廃棄物の適正処理	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	ごみ処理施設の適正な維持管理の推進	大型事業推進プラン	登載事業

目的	クリンクルセンター長寿命化のための計画的な改修を行うことにより、効率的なごみ処理を推進することを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) クリンクルセンター長寿命化のための計画的な改修を行うことにより、効率的なごみ処理を推進する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・長寿命化計画に基づき改修を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 クリンクルセンター

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円		212,300	220,700	175,700	172,800	183,600
その他	一般廃棄物処理施設整備基金積立金繰入金、一般廃棄物広域処理白老町負担金	千円		39,248	40,074	50,292	51,702	6,481
一般財源		千円		17,400	19,152	18,337	17,451	17,096
	合計			268,948	279,926	244,329	241,953	207,177

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 供用開始から16年が経過したクリンクルセンターについて、長寿命化計画に基づき改修を行った。 【事業実績(工事内容)】 ・焼却処理施設改修工事 227,805千円 ・破碎・資源化処理施設改修工事 14,148千円						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		各年度の事業達成率	%	100	100	100	100	100

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・労務単価の上昇に伴う工事費増加を懸念している。
-----------------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・計画的な改修を行う。	目標 クリンクルセンター長寿命化のための計画的な改修を行うことにより、効率的なごみ処理を推進する。 計画 ・左記の今後の取組を実施する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
継続	【3次評価】		
継続			

事務事業名 廃棄物管理型最終処分場水処理施設（電気・計装設備）改修事業

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部環境対策G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成28年度
施策	2	循環型社会の構築	終了年度	平成29年度
基本的な方向	3	一般廃棄物の適正処理	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	ごみ処理施設の適正な維持管理の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	廃棄物管理型最終処分場の改修事業を行うことにより、一般廃棄物の安全かつ安定的な処理を確保することを目的とする。	前回評価
----	---	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 廃棄物管理型最終処分場の改修事業を行うための改修内容の精査を行うことにより、工事実施に向けた資料等を作成する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・予算要求及び工事発注に向けた改修内容の精査を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 廃棄物管理型最終処分場

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円					14,400	
その他		千円						
一般財源		千円					4,911	
合計				0	0	0	0	19,311

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・予算要求及び工事発注に向けた改修内容の精査を行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	各年度の事業達成率		%				100	100

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
--------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	終了	・工事発注に向けて事務を進める。	目標 廃棄物管理型最終処分場の改修工事を行うことにより、一般廃棄物の安全かつ安定的な処理を確保する。 計画 ・左記の今後の取組を実施する。
	平成29年度	行政評価会議及び総合	
【2次評価】	終了		
【3次評価】	終了		

事務事業名 産業廃棄物処理場への管理・指導

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部環境対策G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	2	循環型社会の構築	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	4	産業廃棄物の適正処理	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	産業廃棄物処理場の適正な管理・指導	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	産業廃棄物による環境汚染の防止に努めることにより、美しい自然環境を保全することを目的とする。	前回評価	
----	--	------	--

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 産業廃棄物による環境汚染の防止に努めることにより、美しい自然環境を保全する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・必要に応じて国、北海道や関係機関と連携しながら、産業廃棄物処理業者へ適正な管理をするよう助言を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 産業廃棄物処理業を行う法人

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円						
合計				0	0	0	0	

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 国、北海道や関係機関と産業廃棄物処理業者の情報共有を行った。				
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績
		産業廃棄物処理場への立会件数	件	0	0	0

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・今後も国、北海道や関係機関との情報共有を行う。
	評価	

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・国、北海道や関係機関との連携を深めていく。	目標 産業廃棄物による環境汚染の防止に努めることにより、美しい自然環境を保全する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 左記の今後の取組を実施する。 ・必要に応じて国、北海道や関係機関と連携しながら、産業廃棄物処理業者へ適正な管理をするよう助言を行う。
【3次評価】	継続		

事務事業名 不法投棄等防止事業

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部環境対策
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成 17 年度
施策	2	循環型社会の構築	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	5	不法投棄の防止	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	不法投棄防止の強化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	廃棄物の不法投棄等の防止啓発、不法投棄廃棄物の回収等を行うことにより、良好な生活環境を維持し、きれいで住みよいまちづくりを進めることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 廃棄物の不法投棄等の防止啓発、不法投棄廃棄物の回収等を行うことにより、良好な生活環境を維持し、きれいで住みよいまちづくりを進める。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・市民への街頭啓発活動 ・不法投棄防止パトロール（夜間・早朝） ・不法投棄多発地域のパトロール ・不法投棄廃棄物の回収	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、登別市廃棄物の再利用及び処理に関する条例、登別市不法投棄、ポイ捨て及びペットのふんの放置防止条例、登別市不法投棄、ポイ捨て及びペットのふんの放置防止条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民

事業費（財源内訳）	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	263	213	315	146	244
	合計		263	213	315	146	244

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 不法投棄やごみポイ捨て防止に関する街頭啓発活動、不法投棄防止パトロール（夜間・早朝）を実施した。 【事業内容・実績】 ・市民への街頭啓発活動（1回） ・不法投棄防止パトロール（夜間・早朝各1回） ・不法投棄多発地域のパトロール ・家電4品目不法投棄回収量：30台 ・パソコン回収量：1台						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		不法投棄件数	件	42	52	33	26	0

課題等の状況	平成28年度 件数は減少傾向にあるが、今後も事業継続は必要である。
--------	--------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・不法投棄等の防止啓発等に取り組む。 ・国、北海道や関係機関との連携を深めていく。	目標 廃棄物の不法投棄等の防止啓発、不法投棄廃棄物の回収等を行うことにより、良好な生活環境を維持し、きれいで住みよいまちづくりを進める。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・市民への街頭啓発活動 ・不法投棄防止パトロール（夜間・早朝） ・不法投棄多発地域のパトロール ・不法投棄廃棄物の回収
【3次評価】	継続		

事務事業名 公共下水道汚水整備事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部下水道G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	下水道事業会計・資本的収入及び支出
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	昭和 56 年度
施策	3	生活排水の適正な処理	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	公共用水域の水質保全と下水道施設の適正な管理	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	持続可能な下水道事業の促進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	公共下水道の計画区域内において、汚水管渠、処理場の整備を行うことにより、汚水排除による生活環境の改善、公共用水域の水質の保全を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 国庫補助金の交付状況等も勘案しながら、当初計画で見込んだ事業を着実に実施する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・地域との調整状況、工事期間等を勘案し、適切な時期に発注 ・適切に施工管理を行い、工期内の工事完了を図る。 ・次年度以降の計画を見据え、実施設計等を実施	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 下水道法、登別市下水道事業の設置等に関する条例、登別市下水道条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 公共下水道計画区域内に居住する市民 (対象施設：汚水管渠等)

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	社会資本整備総合交付金	千円	112,200	113,503	147,700	149,728	102,658
道支出金		千円						
地方債	公営企業債	千円	253,400	238,300	275,100	250,200	223,200	
その他	受益者負担金等	千円	13,521	13,559	7,119	7,852	6,915	
一般財源		千円						
合計				379,121	365,362	429,919	407,780	332,773

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 汚水管渠の改築更新を行ったほか、終末処理場（若山浄化センター）機械設備の改築更新を行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		処理人口普及率	%	95.7	95.7	95.7	95.7	96.2

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
--------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	登別市公共下水道事業計画に基づき、事業を実施していく。	目標 施設の老朽化の状況を踏まえ、汚水管渠の改築更新、処理場の機械設備の更新を進めることにより、汚水排除による生活環境の維持、公共用水域の保全を図る。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 各年度の国庫補助金の交付状況を踏まえながら、第7期下水道事業計画、下水道管路長寿命化計画、下水道長寿命化計画（若山浄化センター）に基づき、着実に事業を実施する。
【3次評価】	継続		

事務事業名 水洗便所改造等融資あっせん及び補助金

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部下水道G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	下水道事業会計・収益的収入及び支出
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成 2 年度
施策	3	生活排水の適正な処理	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	公共用水域の水質保全と下水道施設の適正な管理	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	持続可能な下水道事業の促進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	供用開始区域内の既存家屋の水洗化を行う個人に対し、融資あっせんや補助を行うことにより、公共下水道の早期普及を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 引き続き融資あっせんや補助を行うことにより、水洗化戸数の増加を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・利用者からの相談に基づき、適宜金融機関への事前相談等を勧奨 ・申請書の提出を受領し、必要な審査を行った上で、あっせん決定 ・工事完了後、完了確認を行い、あっせんを確定し、利用者に通知	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市水洗便所改造等融資あっせん条例、登別市水洗便所改造等補助金条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 公共下水道供用開始区域内に居住する下水道未接続の市民

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他	一般会計繰入金	千円	214	41	125	8	126
一般財源		千円					
	合計		214	41	125	8	126

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ①融資あっせん制度：水洗化工事を行う者に金融機関からの融資を斡旋し、当該斡旋融資に係る利子を補給（下水道処理開始から3年以内は利子全額、その後は2分の1を補給） ※平成28年度実績：1件（あっせん数） ②補助金制度 下水道処理開始から1年以内の区域に居住し、自己資金で水洗化工事を行う者に補助金を交付 ※平成28年度実績：0件						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		水洗化率	%	86.4	86.5	86.6	86.7	89.3

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
--------	--------	----------------------------

評価	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
【1次評価】	担当グループ	目標
継続	平成29年度以降も引き続き事業を実施していく。	引き続き水洗化に係る経費を対象とした融資あっせん、補助を行うことにより、水洗化戸数の増加を図る。
	行政評価会議及び総合	計画
【2次評価】		利用者の相談、申請に迅速に対応することはもちろん、水洗化の啓発活動と連動し、水洗化戸数の増加を図る。
継続		
【3次評価】		
継続		

事務事業名 公共下水道雨水管渠整備事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部下水道G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	下水道事業会計・資本的収入及び支出
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	昭和 56 年度
施策	3	生活排水の適正な処理	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	公共用水域の水質保全と下水道施設の適正な管理	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	持続可能な下水道事業の促進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	公共下水道の計画区域内において、雨水管渠の整備を行うことにより、雨水排除による浸水の防除を図ることを目的とする。	前回評価
----	--	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 国庫補助金の交付状況等も勘案しながら、当初計画で見込んだ事業を着実に実施する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・地域との調整状況、工事期間等を勘案し、適切な時期に発注 ・適切に施工管理を行い、工期内の工事完了を図る。 ・次年度以降の計画を見据え、実施設計等を実施	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 下水道法、登別市下水道事業の設置等に関する条例、登別市下水道条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 公共下水道計画区域内に居住する市民 (対象施設：雨水管渠)

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	社会資本整備総合交付金	千円	42,000	45,053	55,000	9,862	51,500
道支出金		千円						
地方債	公営企業債	千円	92,800	68,400	73,700	19,800	65,800	
その他		千円						
一般財源		千円	3,154	820	5,100	3,816	4,105	
合計				137,954	114,273	133,800	33,478	121,405

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 雨水管渠の新設を行った。 ・鉄南1号幹線雨水管渠新設（整備延長62.98m）						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		雨水管渠の整備延長	m	2,851.70	3,044.16	3,325.06	3,353.49	4,146.16

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
--------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	登別市公共下水道事業計画に基づき、事業を実施していく。	目標 雨水管渠の新設を進めることにより、雨水による浸水の防除を図る。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 各年度の国庫補助金の交付状況を踏まえながら、着実に事業を実施する。
【3次評価】	継続		

事務事業名 下水道事業経営戦略策定業務委託

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部下水道G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	下水道事業会計・収益的収入及び支出
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成28年度
施策	3	生活排水の適正な処理	終了年度	平成28年度
基本的な方向	1	公共用水域の水質保全と下水道施設の適正な管理	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	持続可能な下水道事業の促進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	人口減少などにより、下水道事業を取り巻く経営環境が厳しさを増す中、中長期的な視点に立って経営を行うための戦略（経営戦略）を策定し、もって持続可能な事業経営を行うことを目的とする。	前回評価
----	---	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 平成28年度中に経営戦略を策定する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・H28.4中に受託業者を選定し、業務開始 ・H28中に委託業務を完了し、その結果を反映して、経営戦略を策定する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 公共下水道計画区域内に居住する市民

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円				6,588	3,942	
	合計			0	0	6,588	3,942	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 経営戦略のうち「投資試算」の策定には、専門的知見が必要とされることから、「下水道事業経営戦略策定業務委託」として、外部のコンサルタントに業務を委託して実施した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
--------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	終了	策定した経営戦略に基づき計画的な経営を行う。なお、経営戦略は、4年毎に更新・見直しを行う予定である。	目標
	平成28年度	行政評価会議及び総合	計画
【2次評価】	終了		
【3次評価】	終了		

事務事業名 し尿処理業務（し尿処理・収集量）

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部環境対策G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成 2 年度
施策	3	生活排水の適正な処理	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	し尿の適正処理	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	し尿投入施設の適正な維持管理	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	し尿を適正に収集、処理することにより、市民の生活環境を清潔にするとともに、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的とする。	前回評価	改善
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) し尿を適正に収集、処理することにより、市民の生活環境を清潔にするとともに、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・し尿の収集運搬業務を民間事業者への委託により実施する。 ・し尿投入施設の維持管理にかかる経費を公共下水道事業特別会計に負担金として支出する。 ・し尿処理手数料及び浄化槽汚い処分手数料の改定事務を進める。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、登別市廃棄物の再利用及び処理に関する条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民及び事業者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他	し尿処理手数料、浄化槽汚い処分手数料	千円		32,571	30,505	29,160	28,986	40,792
一般財源		千円		50,511	49,134	54,752	52,839	43,735
	合計			83,082	79,639	83,912	81,825	84,527

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・一般家庭等の汲み取り式トイレから排出されるし尿の収集運搬業務を民間事業者へ委託した。 ・し尿投入施設の維持管理にかかる経費を公共下水道事業特別会計に負担金として支出した。 ・し尿処理手数料及び浄化槽汚い処分手数料を平成29年4月1日より改定することとした。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		し尿の年間汲み取り量	kl	5,774	5,415	5,112	4,933	4,203

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・次年度からの手数料改定に伴い、市民に十分な周知を行う等事務を進める。 ・収集量が減少傾向にあることから、より効率的な収集運搬体制の検討を行う。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・次年度からの手数料改定に伴い、市民に十分な周知を行う等事務を進める。 ・収集量減少に伴う効率的な収集運搬体制の検証を行う。	目標 し尿を適正に収集、処理することにより、市民の生活環境を清潔にするとともに、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・し尿の収集運搬業務を民間事業者への委託により実施する。 ・し尿投入施設の維持管理にかかる経費を公共下水道事業特別会計に負担金として支出する。
【3次評価】	継続		

事務事業名 個別排水処理施設整備事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部下水道G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	下水道事業会計・資本的収入及び支出
節	1	環境への負荷の少ないまちづくり	開始年度	平成 16 年度
施策	3	生活排水の適正な処理	終了年度	平成 一 年度
基本的な方向	2	し尿の適正処理	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	し尿投入施設の適正な維持管理	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 公共下水道の計画区域以外の地域などを対象に浄化槽を整備することにより、生活雑排水等の適正処理を促進し、汚水排除による生活環境の改善、公共用水域の水質の保全を図ることを目的とする。

前回評価 維持

Plan 概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
引き続き公共下水道の計画区域以外の地域などで事業を推進するほか、中登別町の下水道計画区域での実施を検討する。

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
・経営戦略の策定に併せて、中登別町の下水道計画区域での事業実施を検討する。
・居住者アンケートや住民との意見交換会などを通じて検討を進め、平成29年度予算編成時期までに結論をだすことを目指す。

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
浄化槽法、登別市個別排水処理施設条例、登別市個別排水処理施設条例施行規則

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
公共下水道の計画区域外の地域などに居住する市民

Plan 事業費(財源内訳)

名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金	千円					
道支出金	千円					
地方債	千円		4,200	8,700	2,300	15,800
その他	千円		768	1,900	594	2,500
一般財源	千円					
合計		0	4,968	10,600	2,894	18,300

Do 事務事業の成果・改善の状況

平成28年度

(実績を簡潔に記入してください)
公共下水道計画区域外などに居住する市民等の申請に基づき、区域外の住居、事務所等に浄化槽を整備した。
対象地域：公共下水道計画区域外
対象建物：専用住宅、店舗併用住宅、共同住宅、事務所（別荘、公営住宅、公共施設は除く）
【平成28年度実績】 2基

※検討の結果、平成28年12月より、中登別町の下水道計画区域での事業実施を決定した。

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
浄化槽整備達成率※事業開始時の目標基数（105基）を分母に、各年度の整備済基数を分子に算出。	%	55.2	59.0	62.9	64.8	74.3

Check 課題等の状況

平成28年度

(事務事業の実施における課題点を記入してください)

評価	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
【1次評価】	担当グループ	浄化槽の設置を図ることにより、公共下水道の計画区域以外の地域などでの生活雑排水等の適正処理を促進し、汚水排除による生活環境の改善、公共用水域の水質の保全を図ることを目的とする。 利用者の申請に基づき、着実に事業を実施する。
継続	今後も引き続き、事業を実施する。	
【2次評価】	行政評価会議及び総合	
継続		計画
【3次評価】		
継続		

事務事業名 通学合宿 みんなで学ぶ「子ども村」

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり	開始年度	平成 21 年度
施策	1	自然と調和のとれた潤いと安らぎのある環境の創出	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	1	自然環境活動の拠点づくりと人づくり	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	自然環境を活用した学習の場の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	共同生活の機会を提供することにより、基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けるとともに、協調性や責任感を育むことを目的とする。	前回評価	改善
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 小学生らが共同生活し、自然体験や学習活動を行いながら学校へ通う「通学合宿」を実施する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・のぼりべつ・子ども村実行委員会に委託し、登別市ネイチャーセンターにて実施する。 ・実施時には、職員やボランティアの協力のもと、参加者に貴重な体験の機会を提供する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) のぼりべつ通学合宿実施要領	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市内小学5年生、6年生

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他	参加者負担金	千円		960	975	960	775	720
一般財源		千円		1,406	1,361	1,405	1,590	1,340
	合計			2,366	2,336	2,365	2,365	2,060

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 小学生（5～6年生）がネイチャーセンターで支援ボランティアの協力を得て共同生活をし、自然体験や学習活動を行いながら学校へ通う「通学合宿」を実施した。 【事業実績】 5月10日（火）～5月14日（土） 5月17日（火）～5月21日（土） 9月27日（火）～10月1日（土） 10月25日（火）～10月29日（土） 平成29年度以降の事業実施に向けて、実施回数、対象の見直しを行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		参加者実数	人	182	174	167	132	120

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・リピーターが多いが、安全管理上、参加人数に制限がある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	<ul style="list-style-type: none"> 年1回は、市内小学校8校を対象として事業を実施する。 年度内で初回参加となる児童を優先する。 	目標 小学生らが共同生活し、自然体験や学習活動を行いながら学校へ通う「通学合宿」を実施する 計画 <ul style="list-style-type: none"> 左記取り組みを実施する。 のぼりべつ・子ども村実行委員会に委託し、登別市ネイチャーセンターにて実施する。 実施時には、職員やボランティアの協力のもと、参加者に貴重な体験の機会を提供する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
【3次評価】	継続		

事務事業名 傷病鳥獣等保護経費

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり	開始年度	平成 22 年度
施策	1	自然と調和のとれた潤いと安らぎのある環境の創出	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	自然環境の保全と復元	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	適切な自然環境保全の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	病気やケガをしている野生鳥獣等を保護し、自然に帰すことにより、豊かな自然環境の形成を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 病気やケガをしている野生鳥獣等を保護し、自然に帰す。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 鳥獣等の知識を有する団体に事業を委託し、市民からの通報等により発見した傷病鳥獣等を保護し、自然に帰す。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 一般社団法人北海道猟友会室蘭支部

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円	107	65	105	76	105
合計				107	65	105	76	105

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 鳥獣等の知識を有する団体に事業を委託し、市民からの通報等により発見した傷病鳥獣等を保護し、自然に帰した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	保護頭(羽)数	頭(羽)	3	8	4	5	8	
出動回数	回	5	8	4	5	8		

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし。
--------	--------	-------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	今後も、傷病鳥獣等を現場の状況に応じて適正に保護するとともに、豊かな自然環境の形成を図っていく。	目標 病気やケガをしている野生鳥獣等を保護し、自然に帰す。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 引き続き、鳥獣等の知識を有する団体に事業を委託し、市民からの通報等により発見した傷病鳥獣等を保護し、自然に帰す。
【3次評価】	継続		

事務事業名 **キウシト湿原管理事業**

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部土木・公園G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を活かした潤いのあるまちづくり	開始年度	平成 27 年度
施策	1	自然と調和のとれた潤いと安らぎのある環境の創出	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	自然環境の保全と復元	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	多様な生物が生息する自然環境の保全と復元	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	キウシト湿原を適正に保全、管理するとともに、利活用の促進を図る。	前回評価	維持
----	----------------------------------	------	-----------

P l a n 概 要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 本事業により、自然環境の保全を推進する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 来園者の案内や市民観察会等を精力的に行い、湿原を保全、管理し利活用の促進を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民

P l a n ↓ D o 事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円	3,978	3,643	4,476	4,353	4,274
合計				3,978	3,643	4,476	4,353	4,274

D o 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 来園者の案内や市民観察会等を精力的に行い、湿原を保全、管理し利活用の促進を行った。 ・ミズバショウ観察会 ・小学校総合学習 ・ホテル観賞会 ・カルチャーナイト						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		来園者数	人			5,425	5,537	6,000

C h e c k 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) キウシト湿原の乾燥化を防ぐ対策として、山から沢水を引き込むために設置している導水管からの放流先や放流量について、調整が必要。
---------------------------------	--------	--

評 価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・自然環境の保全を推進する。 ・有識者と導水の放流先や放流量について検討する。	目標 本事業により、自然環境の保全を推進する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ・来園者の案内や市民観察会等を精力的に行い、湿原を保全、管理し利活用の促進を行う。 ・有識者と導水の放流先や放流量について検討する。
【3次評価】		継続	

事務事業名 民有林造林推進事業

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり	開始年度	平成 11 年度
施策	1	自然と調和のとれた潤いと安らぎのある環境の創出	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	自然環境の保全と復元	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	森林の保全	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	民有林の所有者が実施する植栽、下刈等の活動を支援することにより、森林の保全を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 民有林の所有者が実施する造林事業等に対し支援を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 民有林造林事業のうち、国、道から補助を受けた植栽、下刈、間伐等事業を対象に、事業費の一部を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市民有林造林推進事業補助規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 苫小牧広域森林組合

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金	未来につなぐ森づくり推進事業補助金		千円	155	310	754	534	0
地方債			千円					
その他			千円					
一般財源			千円	2,407	2,191	1,974	886	2,991
	合計			2,562	2,501	2,728	1,420	2,991

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 民有林造林事業のうち、国、道から補助を受けた植栽、下刈、間伐等事業を対象に、事業費の一部を補助した。 【事業内容】 ・植栽 ・下刈						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	植栽面積	ha	5	3	3	5	0	
下刈・除間伐面積	ha	99	95	95	50	75		

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 事業費の一部を補助しているが、森林所有者の負担もあり施業に対する意識が低い。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	今後も民有林の植栽、下刈等の活動を支援し、森林の荒廃防止や多面的機能の維持、森林資源の充実を図っていく。 また、施業者である苫小牧広域森林組合との情報共有を密にし、小規模山林所有者への働きかけを行い施業の推進を図っていく。	目標 民有林の所有者が実施する造林事業等に対し支援を行う。 計画 引き続き民有林造林事業のうち、国、道から補助を受けた植栽、下刈、間伐等事業を対象に、事業費の一部を補助する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
【3次評価】	継続		

事務事業名	森林愛護啓蒙事業補助金
-------	-------------

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり	開始年度	昭和 40 年度
施策	1	自然と調和のとれた潤いと安らぎのある環境の創出	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	自然環境の保全と復元	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	森林の保全	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	山火事及び遭難防止、入山者のマナー啓発等の活動を行う団体を支援することにより、森林の保護及び森林に関連した事故の防止を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 森林の保護及び森林に関連した事故防止活動を行う団体を支援する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 山火事及び遭難防止、入山者のマナー啓発等の活動を行う登別市森林愛護組合連合会に対し、経費の一部を補助する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市森林愛護組合連合会規約、登別市農林業等振興補助金交付要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市森林愛護組合連合会

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		107	107	107	107	107
	合計			107	107	107	107	107

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 森林愛護組合連合会が行う、山火事及び遭難防止の巡視活動、啓発チラシの配布、看板設置等の事業に対し、その経費の一部を補助した。 【森林愛護組合連合会の事業内容】 ・チラシ作成及び配布 ・山火事注意啓発旗の設置						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		チラシ配布数	枚	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		看板設置数	箇所	5	5	5	5	5

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし
--------	--------	------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	今後も山火事及び遭難防止の巡視活動、啓発チラシの配布、看板設置等の各種事業を推進していく。	目標 森林の保護及び森林に関連した事故防止活動を行う団体を支援する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 引き続き、山火事及び遭難防止、入山者のマナー啓発等の活動を行う登別市森林愛護組合連合会に対し、経費の一部を補助する。
【3次評価】	継続		

事務事業名 親水空間の保全・整備

区分	No.	名称	部・グループ
章	2	自然とともに暮らすまち	都市整備部土木・公園G
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり	会計種別
施策	1	自然と調和のとれた潤いと安らぎのある環境の創出	開始年度 平成 ー 年度
基本的な方向	3	水辺環境の保全・創造	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	2	親水空間の保全と創造	事業区分 ハード事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的	水辺を活用した自然とのふれあいの場を整備することにより、市民が水に親しみながら、水辺の大切さを学ぶことで、自然に関する意識の向上を図ることを目的とする。	前回評価
----	--	------

概要 Plan	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 都市公園等における親水空間の保全、整備を行う。 亀田記念公園ジャブジャブ川の清掃及び組石の補修を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)

事業費 (財源内訳) Plan ↓ Do	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円					
合計				0	0	0	0	0

事務事業の成果・改善の状況 Do	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 都市公園等における親水空間の保全、整備を行った。 亀田記念公園ジャブジャブ川の清掃及び組石の補修を行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

課題等の状況 Check	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
-----------------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続		
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
継続	【3次評価】		
継続			

事務事業名 交流の森づくり事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部土木・公園G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり	開始年度	平成23年度
施策	1	自然と調和のとれた潤いと安らぎのある環境の創出	終了年度	平成29年度
基本的な方向	4	自然とのふれあいの場の整備	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	地域の自然資源を活用した自然とのふれあいの場の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	友好都市の市民等による植樹を推進し、親睦を深めるとともに、来訪者や市民が集うことのできる場所としての活用を図り、みどり豊かなまちづくりの推進を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 友好都市の市民等による植樹を推進する	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・友好都市の市民等による植樹を推進し、親睦を深めるとともに、来訪者や市民が集うことのできる場所としての活用を図り、みどり豊かなまちづくりの推進を図る。 ・適切な維持管理を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 札内町の市有地

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	0	0	0	0	0
合計			0	0	0	0	0

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 札内町の市有地（日本工学院北海道専門学校前付近）において友好交流都市の市民等による植樹を行った。 【事業実績】 ・友好都市等による植樹（8本）						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		植樹本数	本	22	8	31	8	20

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
-----------------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・友好都市の市民等による植樹を推進し、親睦を深めるとともに、来訪者や市民が集うことのできる場所としての活用を図り、みどり豊かなまちづくりの推進を図る。 ・適切な維持管理を行う。	目標 友好都市の市民等による植樹を推進する 計画 ・友好都市の市民等による植樹を推進し、親睦を深めるとともに、来訪者や市民が集うことのできる場所としての活用を図り、みどり豊かなまちづくりの推進を図る。 ・適切な維持管理を行う。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
【3次評価】	継続		

事務事業名 **ネイチャーセンター運営管理経費**

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり	開始年度	平成 14 年度
施策	1	自然と調和のとれた潤いと安らぎのある環境の創出	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	4	自然とのふれあいの場の整備	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	地域の自然資源を活用した自然とのふれあいの場の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	自然体験活動の拠点となる施設を維持管理し、市民の自然に関する意識の向上を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	-----------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) ネイチャーセンターを拠点に、鉱山地区の自然を活用した自然体験活動を推進する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・運営管理を指定管理者に委託し、ネイチャーセンターを拠点に、鉱山地区の自然を活用した自然体験活動を実施する。 ・施設の老朽化状況を把握し、必要な修繕等を検討する。 ・平成28年度で指定管理期間が満了することから、指定管理者の更新に向けた業務を行う。 ・鉱山地区の飲料水の提供のため、浄水場の運営管理を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市ネイチャーセンター条例、登別市ネイチャーセンター条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) ネイチャーセンター利用者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円	38,870	38,013	39,215	38,610	39,744
合計				38,870	38,013	39,215	38,610	39,744

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 運営管理を指定管理者に委託し、ネイチャーセンターを拠点に、鉱山地区の自然を活用した自然体験活動を推進した。 【事業実績】 ・指定管理者 特定非営利活動法人 登別自然活動支援組織モモンガくらぶ ・委託期間 平成24年度～平成28年度 指定管理者の更新を行った。 ・指定管理者 特定非営利活動法人 登別自然活動支援組織モモンガくらぶ ・委託期間 平成29年度～平成33年度						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		ネイチャーセンター利用者数	人	23,206	25,474	25,351	23,679	26,000

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・一部が学校の廃校利用であることから、施設の老朽化が進んでいる。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・施設の老朽化状況を把握し、必要な修繕等を検討する。	目標 ネイチャーセンターを拠点に、鉱山地区の自然を活用した自然体験活動を推進する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ・運営管理を指定管理者に委託し、ネイチャーセンターを拠点に、鉱山地区の自然を活用した自然体験活動を推進する。 ・施設等の老朽化状況から、水路の補修や備品の一部更新を行う。 ・鉱山地区の飲料水の提供のため、浄水場の運営管理を行う。
	継続		
【3次評価】			
継続			

事務事業名	ネイチャーセンター整備事業
-------	---------------

区分	No.	名称	部・グループ	教育委員会社会教育G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり	開始年度	平成26年度
施策	1	自然と調和のとれた潤いと安らぎのある環境の創出	終了年度	平成—年度
基本的な方向	4	自然とのふれあいの場の整備	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	地域の自然資源を活用した自然とのふれあいの場の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	設備の老朽部分等について改修整備を図ることにより、「人と自然のふれあい拠点」として自然体験学習施設の機能を維持・向上させることを目的とする。	前回評価	休止
----	--	------	----

概要 Plan	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市ネイチャーセンター条例、登別市ネイチャーセンター条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市ネイチャーセンター

事業費(財源内訳) Plan↓Do	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円	9,500	9,500			
その他		千円					
一般財源		千円	3,260	3,224			
	合計		12,760	12,724	0	0	0

事務事業の成果・改善の状況 Do	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・未実施						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		ネイチャーセンター利用者数	人	23,206	25,474	25,351	23,679	26,000

課題等の状況 Check	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
-----------------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	休止	・施設の老朽部分等を把握し、改修内容を検討する。	目標 施設の老朽化状況を把握し、施設機能の維持・向上を図る。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ・施設の老朽部分等を把握し、改修内容を検討のうえ、事業を行う。
【3次評価】	休止		

事務事業名 葬斎場運営管理事業

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部市民サービスG
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり	開始年度	平成 23 年度
施策	1	自然と調和のとれた潤いと安らぎのある環境の創出	終了年度	平成 一 年度
基本的な方向	5	葬斎場・墓地の整備	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	葬斎場の効率的な運営	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	施設・設備等を円滑に運営・稼働することにより、利用者の利便性を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

P l a n 概 要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 多様化する住民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため指定管理者制度の導入による民間の能力を活用して住民サービスの向上と経費の削減を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・施設等修繕 ・環境計量測定 ・飛灰（集じん）処理委託 ・指定管理委託	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市葬斎場条例、登別市葬斎場条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 葬斎場利用者

P l a n ↓ D o 事業費（財源内）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他	葬斎場使用料	千円		11,246	10,935	10,972	13,271	11,198
一般財源		千円		23,171	23,482	24,908	22,578	23,327
合計				34,417	34,417	35,880	35,849	34,525

D o 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 【事業実績】 防災資機材譲渡代金償還金1系列分支払い：2,236千円 (元金2,230千円・利子6千円) 防災資機材譲渡代金償還金2系列分支払い：2,234千円 (元金2,230千円・利子4千円) 平成28～32年度指定管理者：株式会社 中田商会						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		各年度の事業達成率	%	100	100	100	100	100

C h e c k 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
---------------------------------	--------	----------------------------

評 価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	指定管理者に対し適正な運営管理について指導する。	目標 多様化する住民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため指定管理者制度の導入による民間の能力を活用して住民サービスの向上と経費の削減を図る。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ・施設等修繕 ・環境計量測定 ・飛灰（集じん）処理委託 ・指定管理委託
【3次評価】	継続		

事務事業名 葬斎場中間改修事業

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部市民サービスG
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり	開始年度	平成 26 年度
施策	1	自然と調和のとれた潤いと安らぎのある環境の創出	終了年度	平成 46 年度
基本的な方向	5	葬斎場・墓地の整備	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	葬斎場の効率的な運営	大型事業推進プラン	登載事業

目的	葬斎場の設備改修を行い、設備の機能維持を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---------------------------------	------	----

P l a n 概 要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 葬斎場の長寿命化を図るとともに、費用負担の平準化を図るため、施設・設備の計画的な改修を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 当該年度において葬斎場中間改修事業なし。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市葬斎場条例、登別市葬斎場条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 葬斎場

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円	4,400	4,400	-	-	4,700
その他		千円					
一般財源		千円	1,594	1,594	-	-	1,672
	合計		5,994	5,994	0	0	6,372

D o 事 務 事 業 の 成 果 ・ 改 善 の 状 況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 平成28年度については、修繕料が軽微なため、葬斎場運営管理経費で実施した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		各年度の事業達成率	%	100	100	100	-	100

C h e c k 課 題 等 の 状 況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 葬斎場整備計画に基づき、大型事業推進プランで策定された項目のとおり各設備の更新業務を進めているが、想定していない設備において突発的な故障が発生する恐れがある。
---	--------	---

評 価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	葬斎場の長寿命化を図るとともに、費用負担の平準化を図るため、施設・設備の計画的な改修を行う。	目標 葬斎場の長寿命化を図るとともに、費用負担の平準化を図るため、施設・設備の計画的な改修を行う。 計画 ・主燃焼炉耐火物積替 ・再燃焼炉耐火物積替
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
継続	【3次評価】		
継続			

事務事業名 墓地管理経費（墓参バス借上料除く）

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部市民サービスG
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり	開始年度	平成 - 年度
施策	1	自然と調和のとれた潤いと安らぎのある環境の創出	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	5	葬斎場・墓地の整備	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	墓地の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	墓地の適切な維持管理を行うことにより、市民の利便性を維持することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市内10カ所の墓地の維持管理、周辺整備等を行い、市民の利便性を維持する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・墓地施設（排水路・トイレ等）修繕 ・墓地草刈業務委託 ・支障木伐採委託 ・市内墓地ごみ回収委託 等	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 墓地・埋葬等に関する法律、墓地使用条例、墓地使用条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 墓地使用者及び墓参者

事業費（財源内訳）	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	5,047	4,690	4,998	4,699	5,236
	合計		5,047	4,690	4,998	4,699	5,236

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市内10カ所の墓地の維持管理及び周辺整備等を行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・無縁化していると推測される管理されていない墓石について今後の対応を検討する必要がある。 ・改葬に伴う墓地区画の空白化	

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	市内10カ所の墓地の維持管理、周辺整備等を行い、市民の利便性を維持する。	目標 市内10カ所の墓地の維持管理、周辺整備等を行い、市民の利便性を維持する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ・墓地施設（排水路・トイレ等）修繕 ・墓地草刈業務委託 ・支障木伐採委託 ・市内墓地ごみ回収委託 ・墓地管理システム機器更新 等
【3次評価】	継続		

事務事業名 墓地管理経費（墓参バス借上げ料）

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部市民サービスG
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり	開始年度	昭和 54 年度
施策	1	自然と調和のとれた潤いと安らぎのある環境の創出	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	5	葬斎場・墓地の整備	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	墓地の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 富浦墓地及び第二富浦墓地、亀田霊園は、市街から離れた高台にあり、近くに駅及びバス停等がないことから、墓参者の利便性を向上させることを目的とする。

前回評価 維持

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 墓地を利用する墓参者の利便性を確保するとともに、利用者の増加を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・墓参バス賃貸借 ・広報紙による周知 ・バス運行表の事前掲示（バス停） ・アンケート実施	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 墓地・埋葬等に関する法律、墓地使用条例、墓地使用条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 墓参者

事業費（財源内訳）	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	98	98	105	105	148
	合計		98	98	105	105	148

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 富浦墓地及び第二富浦墓地については、美園・上鷲別・鷲別・新川・幌別・登別地区、若草・新生・桜木・片倉・富士・千歳地区の2ルートを設定し無料墓参バスを運行した。また、亀田霊園については、イオン登別店前バス停から市バスの運行（無料）によるピストン輸送を行った。 【平成28年8月13日（土）運行実績】 乗車人数 ・富浦墓地、第二富浦墓地：57名 ・亀田霊園：25名（延べ人数・4往復）						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	乗車人数	人	71	90	61	57	132	
乗車率	%	53	68	46	42	60		

課題等の状況 平成28年度 (事務事業の実施における課題点等を記入してください)
行きと帰りで乗車人数が異なり、帰りの出発時に若干の混乱を生じた。
原因：現地にて親族や知人に会い、送ってもらった等。
バス内アナウンスにより帰りの乗車について確認する等の対応が必要である。

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	アンケートにより利用状況及び乗車実態を把握し今後の運行の可否について検討を行い事業の方向性を決める。	目標 墓地を利用する墓参者の利便性を確保するとともに、利用者の増加を図る。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ・墓参バス賃貸借 ・広報紙による周知 ・バス運行表の事前掲示（バス停） ・アンケート実施
【3次評価】	継続		

事務事業名 富浦墓地施設整備事業

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部市民サービスG
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり	開始年度	平成 - 年度
施策	1	自然と調和のとれた潤いと安らぎのある環境の創出	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	5	葬斎場・墓地の整備	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	墓地の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	富浦墓地施設の整備を行い、墓参者等の利便性の向上を図ることを目的とする。	前回評価
----	--------------------------------------	------

概要 Plan	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 富浦墓地施設の維持管理、周辺整備等を行い、墓参者等の利便性を維持する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・富浦墓地敷地内道路や排水設備等を定期的に点検	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 墓地・埋葬等に関する法律、墓地使用条例、墓地使用条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 墓地使用者及び墓参者

事業費(財源内) Plan Do	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円						
合計				0	0	0	0	0

事務事業の成果・改善の状況 Do	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 老朽化に伴い、富浦墓地敷地内の水道の簡易修繕を行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

課題等の状況 Check	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) トイレ手洗い場、水汲み場において、老朽化により慢性的な漏水が発生しており、その都度、簡易的な修繕を実施しているが、今後において、改修等に向けて検討する必要がある。
-----------------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	引続き定期点検を行い、墓地施設整備を図る。	目標 富浦墓地施設の維持管理、周辺整備等を行い、墓参者等の利便性を維持する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 定期点検を行い、墓地施設整備を図る。
【3次評価】	継続		

事務事業名 共同墓整備事業

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部市民サービスG
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり	開始年度	平成28年度
施策	1	自然と調和のとれた潤いと安らぎのある環境の創出	終了年度	平成—年度
基本的な方向	5	葬斎場・墓地の整備	事業区分	ハード事業
主要な施策	2	墓地の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 少子高齢化や核家族化の進行により、宗教等に関係なく、お墓等の継承ができない方や身寄りがいない方、経済的にお墓を建立することができない方などの増加が予測されることから、高齢者が現役世代を終え、安心して老いを迎えることができるよう共同墓を設置することを目的とする。

前回評価

Plan 概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
平成30年11月の供用開始を目指し、共同墓の整備を進める。

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
・市民ニーズ調査を実施する。
・先進都市への視察を実施する。
・登別市仏教会に対し聞き取り調査を実施する。
・市内石材業者に対し聞き取り調査を実施する。

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
墓地・埋葬等に関する法律、墓地使用条例、墓地使用条例施行規則

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)

Plan 事業費（財源内訳）

名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金	千円					
道支出金	千円					
地方債	千円					2,600
その他	千円					
一般財源	千円					73
合計		0	0	0	0	2,673

Do 事務事業の成果・改善の状況

平成28年度 (実績を簡潔に記入してください)
【共同墓概要】
設置予定場所 第二富浦墓地内
地下に納骨収容部（カロート）を設置（コンクリート製）
カロート容量：約8㎡を予定
収容体数：3,000体分の収容を予定
使用年数：年間60体の納骨があると想定し、50年の使用を予定。
地上部分には石碑を設置する予定（寸法・デザイン等は検討中）
○市民ニーズ調査結果
共同墓整備の要望が多数寄せられた。
○先進都市への視察を実施した。
○登別市仏教会、市内石材業者からの意見等
仏教会及び石材業者からも概ね賛成意見が寄せられた。

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

Check 課題等の状況

平成28年度 (事務事業の実施における課題点等を記入してください)
○管理運営方法、使用料及び管理手数料、受入基準等については、他市の状況を踏まえつつ検討する必要がある。

評価

【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
継続	○周辺環境との調和、ロケーション、施設の景観、ユニバーサルデザインへの配慮などを考慮した施設規模・デザインを検討する。 ○引き続き、他市の状況を踏まえつつ、管理運営方法、使用料及び管理手数料、受入基準等を検討する。	目標 平成30年11月の供用開始を目指し、共同墓の整備を進める。 計画 ○地質・測量調査委託業務 ○実施設計等業務委託 ○造成工事 ○本体工事
【2次評価】	行政評価会議及び総合	
継続		
【3次評価】		
継続		

事務事業名 防災会議経費

区分	No.	名称	部・グループ	総務部総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	総合防災対策の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	防災計画の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	防災計画の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	登別市地域防災計画による防災対応の実施を推進するほか、地域に係る防災に関する重要事項を審議し、登別市地域防災計画の適正な見直しを行うことを目的とする。	前回評価
----	---	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別市防災会議の開催を通して、災害状況や防災施策等を共有するとともに、登別市地域防災計画の適正な見直しを行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ○登別市防災会議を開催し、次の事項の情報共有・審議等を行う。 ●登別市地域防災計画の見直し案の作成及び審議 ●当該年度における市の防災に関する取組の情報共有及び重要事項の審議 ●登別市における前年度の災害状況及び災害対応（災害対策本部設置の有無）などの情報共有	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 災害対策基本法、登別市防災会議条例、登別市防災会議運営規程	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市防災会議委員

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	246	25	238	30	240
	合計		246	25	238	30	240

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ○登別市防災会議を開催し、登別市地域防災計画の一部見直し等について審議を行った。 【会議開催実績】1回 ●第1回登別市防災会議 ・日時：平成28年6月30日 13時～ ・出席委員数：27名 【委員数（平成28年6月30日現在）】28名 ○登別市防災会議に参加した委員に報酬の支払い及び交通費の費用弁償を行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		登別市防災会議開催回数	回	1	1	1	1	1

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ○委員の入れ替わりが多い団体もあり、長期的な視点で審議することや防災意識を醸成することが難しい。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 登別市地域防災計画の見直しや総合防災訓練を行うため、必要な会議を開催する。	今後の目標・計画【Plan】 目標 登別市防災会議の開催を通して、災害状況や防災施策等を共有するとともに、登別市地域防災計画の適正な見直しを行うほか、総合防災訓練の実施に向けて準備を進める。 計画 ○登別市防災会議を開催し、次の事項の情報共有・審議等を行う。 ●登別市地域防災計画の見直し案の作成及び審議 ●当該年度における市の防災に関する取組の情報共有及び重要事項の審議 ●登別市における前年度の災害状況及び災害対応（災害対策本部設置の有無）などの情報共有 ●総合防災訓練の実施に向けた準備
	継続		
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
	【3次評価】	継続	

事務事業名 火山防災対策関係経費

区分	No.	名称	部・グループ	総務部総務グループ
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 28 年度
施策	1	総合防災対策の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	防災計画の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	防災計画の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 常時観測火山である倶多楽について、活動火山対策特別措置法に基づき、火山防災協議会を設置し、防災関係機関等と連携して避難計画を作成する等により、適切な防災対応を図り、住民等の安全を確保することを目的とする。

前回評価

概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
倶多楽火山防災協議会の活動を推進し、火山防災に係る情報共有と火山防災知識の習得等のため、関係会議等や研修会へ参加する。

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
○次の取組を実施する「倶多楽火山防災協議会」の事務局として参画するとともに、活動に要する経費の一部を負担する。
●協議会における倶多楽火山の活動状況の共有、協議会への学識経験者の参画依頼、倶多楽火山における避難計画の策定に関する協議、登別市地域防災計画及び白老町地域防災計画の見直しの検討・協議、火山防災協議会等連絡・連携会議（内閣府主催）への参加、北海道火山防災協議会への参加 など
●上記を推進するためのコアグループ会議の開催

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
災害対策基本法、活動火山対策特別措置法

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
倶多楽火山防災協議会委員

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	0	0	161	81	59
合計			0	0	161	81	59

事務事業の成果・改善の状況

(実績を簡潔に記入してください)

○火山専門家を含む防災関係機関等で構成する火山防災協議会を運営した。

○火山防災に係る情報共有と火山防災知識の習得等のため、関係会議等や研修会へ参加した。
●参加回数 : 2回(札幌・東京)

○その他、協議会の子な活動実績
●コアグループ会議開催(開催回数:3回)
●倶多楽火山における避難計画の策定に関する関係団体との協議の実施
●倶多楽の噴火警戒レベル啓発リーフレットの改訂への協力
●気象台が実施する倶多楽火山観測調査への同行
●大正地獄の活動が活発化した際の対応検討 など

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
倶多楽火山防災協議会開催回数	回	-	-	-	1	1

課題等の状況

(事務事業の実施における課題等を記入してください)

○火山協議会に参画する火山専門家について、具体的な専門分野は示されておらず、北海道や北海道防災会議火山専門委員会の意見も踏まえ、火山学の専門家に参画していただいていたが、積雪寒冷地特有の「融雪型火山泥流」による被害の対策を検討するため、砂防学の専門家の参画について、全道の火山協議会で参画が検討されていることから、倶多楽火山防災協議会においても参画について検討していく必要がある。

○倶多楽火山における避難計画の策定に向け、多くの関係団体と協議を進めていく必要がある。

評価	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
【1次評価】	担当グループ	倶多楽火山防災協議会の活動を推進し、火山防災に係る情報共有と火山防災知識の習得等のため、関係会議等や研修会へ参加する。
継続	関係機関と連携を図るとともに火山防災に関する知見を広げながら、火山現象の状況に応じた警戒避難体制の整備を目指す。	「倶多楽火山防災協議会」における次の活動等に要する経費の一部を負担する。 ●協議会における倶多楽火山の活動状況の共有 ●協議会への学識経験者の参画依頼 ●倶多楽火山における避難計画の策定に関する協議 ●登別市地域防災計画及び白老町地域防災計画の見直しの検討・協議 ●火山防災協議会等連絡・連携会議（内閣府主催）への参加 ●北海道火山防災協議会への参加 ●上記を推進するためのコアグループ会議の開催
【2次評価】	行政評価会議及び総合	
継続		
【3次評価】		
継続		

事務事業名 登別市国民保護協議会開催経費

区分	No.	名称	部・グループ	総務部総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 18 年度
施策	1	総合防災対策の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	防災計画の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	国民保護計画の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に基づき、市民の保護に関する重要事項を審議し、登別市国民保護計画の適正な見直しを行うことを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別市国民保護計画の適正な見直しを図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ○国の基本指針、北海道国民保護計画の変更、学校教育法の一部改正等に伴い、登別市国民保護計画の見直しを図る。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律、登別市国民保護協議会条例、登別市国民保護対策本部及び登別市緊急対処事態対策本部条例、登別市国民保護協議会運営規程	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市国民保護協議会委員

事業費(財源内訳) Plan ↓ Do	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	116	0	108	13	56
	合計		116	0	108	13	56

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ○登別市国民保護計画の一部見直し等について審議を行った。 【会議開催実績】1回 ●第1回登別市国民保護協議会 ・日時：平成28年6月30日 14時30分～ ・出席委員数：19名 ○国民保護協議会に参加した委員に報酬の支払い及び交通費の費用弁償を行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		国民保護協議会開催回数	回	0	0	0	1	1

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ○委員の入れ替わりが多い団体もあり、長期的な視点で審議することが難しい。 ○国民保護に関することよりも防災に関する対策を優先的に実施している状況にある。
	評価	

継続	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 市民の保護に関する重要事項の審議や登別市国民保護計画の見直しなど、必要に応じて会議を開催する	今後の目標・計画【Plan】 登別市国民保護計画の適正な見直しを図る。 国の基本指針や北海道国民保護計画の変更等に伴い、登別市国民保護計画の見直しを図る。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
	【3次評価】		

事務事業名 **総合防災訓練経費**

区分	No.	名称	部・グループ	総務部総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	昭和 61 年度
施策	1	総合防災対策の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	防災意識の向上	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	防災訓練の実施	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 地域住民及び防災関係機関等の参加による総合防災訓練を実施し、防災関係機関の災害発生時の応急対策を確認するとともに、地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。

前回評価

Plan 概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
平成29年度に実施予定の総合防災訓練の準備事務を進める。

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
○実施概要案（災害想定、日時、場所等）の調整
○予算案の調整
○主催する登別市防災会議委員をはじめとする防災関係機関との調整

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
災害対策基本法、登別市地域防災計画

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
登別市防災会議委員、市民等

Plan 事業費（財源内訳）

名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金	千円					
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円					
一般財源	千円	2,343	844	0	0	2,351
合計		2,343	844	0	0	2,351

Do 事務事業の成果・改善の状況

平成28年度

(実績を簡潔に記入してください)
○計画に記載のとおり、関係機関等との調整や予算・実施概要案の調整を実施した。
【実施概要案】
●災害想定 : 地震・津波
●実施日時 : 平成29年9月30日（土） 8時30分～12時30分 ※予備日：平成29年10月14日（土）
●実施場所
・メイン会場 : 登別中学校グラウンド
・高台避難場所 : 時代村社員寮付近、アオノ産資付近、金毘羅寺付近 など
●実施形態
・津波避難訓練 : 災害情報の伝達訓練、避難指示（緊急）の発令による住民の避難の実施
・会場実働訓練 : 防災関係機関を中心とした応急対策活動（救出救護訓練や炊き出し訓練等）や屋外避難体験を実施

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
総合防災訓練参加者数	人	703	-	- (中止)	-	1,000

Check 課題等の状況

平成28年度

(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
○平成27年度に実施予定であった総合防災訓練は、荒天のため中止となったが、防災関係機関の災害発生時の応急対策の確認や地域住民の防災意識の高揚を図るため、平成27年度と同じ会場で実施することが望ましいと考える。

評価	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
【1次評価】	担当グループ	総合防災訓練を実施する。
継続	○平成29年度の開催に向けて、引き続き、関係団体との調整を図る。 ○訓練実施の予備日を設定し、延期となった場合にも同規模の訓練を実施できるよう準備を進める。	目標
【2次評価】	行政評価会議及び総合	○防災会議における総合防災訓練概要案の協議 ○総合防災訓練開催の市民周知 ○その他、総合訓練訓練の準備に必要な各種手続き・事務等の調整・実施
継続		計画
【3次評価】		
継続		

事務事業名	防災意識普及啓発活動事務			
-------	--------------	--	--	--

区分	No.	名称	部・グループ	総務部総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	総合防災対策の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	防災意識の向上	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	防災思想の普及啓発強化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	防災に関する研修会の開催、市ホームページで防災情報の掲載及び冊子の配布等を行うことにより、市民の防災意識の向上を図ることを目的とする。	前回評価
----	---	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 各町内会等が主催する研修会・防災訓練への職員派遣や市広報・ホームページ、ラジオなどを通じて防災情報の発信を行うほか、新たに関係機関と連携して「避難行動要支援者名簿」を作成及び避難支援等関係者へ配付を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ○各町内会等が主催する研修会・防災訓練への職員派遣 ○市広報・ホームページ、ラジオ（FMびゅー）を活用した防災情報の発信 ○避難行動要支援者避難支援プランの策定及び関係機関と連携した避難行動要支援者名簿の作成・避難支援等関係者への配付 ○防災タウンページの製作協力・配付 ○防災マップの配付	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 災害対策基本法、登別市地域防災計画	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民等

事業費（財源内訳）	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	0	0	0	0	0
合計			0	0	0	0	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください)						
		<ul style="list-style-type: none"> ○各町内会等が主催する研修会・防災訓練への職員派遣 <ul style="list-style-type: none"> ●派遣回数：17回 ●町内会等の参加者数：2,946名 ○避難行動要支援者避難支援プランの策定及び関係機関と連携した避難行動要支援者名簿の作成・避難支援等関係者への配布 <ul style="list-style-type: none"> ●平成28年9月に避難行動要支援者避難支援プランを作成した。作成に伴い、パブリックコメントを実施した。 ●平成28年8月に避難行動要支援者名簿の登録対象者へ通知を行うとともに、平時における避難支援等関係者への情報共有について、同意・不同意の確認を行った。 ●平成29年3月から避難支援等関係者へ避難行動要支援者名簿（同意者分）の配付を始めた。 ○市広報への掲載、ラジオを活用した情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ●防災に役立つ情報をお伝えする「防災メモ」を市広報へ毎月掲載した。（市広報は市ホームページにも掲載。） また、掲載内容を編集し、FMびゅーで情報発信した。 ●FMびゅーで毎月1回放送される「登別市防災特号」で防災情報を発信した。 ○市ホームページにおける情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ●市民等が防災情報を収集しやすいよう、各機関等が発信する地域の防災情報を集約したページを作成し、公開した。 ○防災タウンページの製作協力・配布 <ul style="list-style-type: none"> ●N T Tタウンページ株式会社と共同で作成している市民便利帳とあわせて、防災タウンページを作成し、平成28年7月に配布した。 ○防災マップの配布 <ul style="list-style-type: none"> ●転入者へ配付したほか、防災研修会等で希望者に配付した。 						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		各町内会等が主催する研修会・防災訓練への職員派遣回数	回	20	16	16	17	20

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)	
		<ul style="list-style-type: none"> ○各町内会等が自主的に研修会や防災訓練を実施する中で、毎年、職員派遣依頼のある団体があるなど、防災意識の向上に一定の成果が得られているものと考えられるが、依頼団体や参加者が固定化している実態も見受けられる。 ○避難行動要支援者名簿の更新について、年1回実施することとしていることから、関係機関と効率的な情報共有や更新・配布のスケジュール調整が必要となる。また、国においては今後、避難行動要支援者名簿と災害時における被災者台帳や罹災情報などの連携やマイナンバー活用も想定されていることから、今後の運用について、中長期的な視点で関係機関と協議していく必要がある。 	

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 各町内会等が主催する研修会・防災訓練への職員派遣や市広報・ホームページなどを通じて、引き続き防災意識の啓発活動に努めていくほか、避難行動要支援者避難支援プランに定める避難支援等関係者と連携し、避難行動要支援者名簿の更新や配付について年に1回実施できる仕組みづくりを目指していく。	今後の目標・計画【Plan】 目標 各町内会等が主催する研修会・防災訓練への職員派遣や市広報・ホームページなどを通じて防災情報の発信を行うほか、新たに関係機関と連携して「避難行動要支援者名簿」の更新及び避難支援等関係者への配付を行う。 計画 ○各町内会等が主催する研修会・防災訓練への職員派遣 ○市広報・ホームページ、ラジオ（FMびゅー）を活用した防災情報の発信 ○避難行動要支援者避難支援プランの策定及び関係機関と連携した避難行動要支援者名簿の更新・避難支援等関係者への配付 ○防災タウンページの製作協力・配付 ○防災マップの配付
	継続		
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
	継続		
【3次評価】			
継続			

事務事業名 **高台避難誘導看板設置事業**

区分	No.	名称	部・グループ	総務部総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 26 年度
施策	1	総合防災対策の推進	終了年度	平成 30 年度
基本的な方向	3	防災体制の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	防災施設及び設備の適正管理	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	地震に伴う大津波警報発表時に市民等が速やかに高台の避難場所に避難できるよう整備するとともに、高台避難場所の周知等を図ることを目的とする。	前回評価	拡大
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 高台の避難場所の周知や避難場所へ誘導するための看板を設置する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ○誘導看板は平成26年度から平成30年度まで、各地区に計画的に設置することとしており、次のとおり設置する。 ●幌別鉄南地区（設置予定枚数：5枚） ●鷺別地区（設置予定枚数：22枚） ○誘導看板の設置にあたり、避難経路や設置場所について、事前に町内会等地域住民と協議するほか、設置に必要な許可申請などの手続きを行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 津波防災地域づくりに関する法律、津波対策の推進に関する法律、太平洋沿岸の津波浸水予測図、登別市津波避難計画	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民等

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金	地域づくり総合交付金		千円			900	500	1,100
地方債			千円					
その他	北海道市町村振興協会交付金		千円					
一般財源			千円	0	0	1,091	627	1,199
	合計			0	0	1,991	1,127	2,299

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 津波時における高台避難場所付近及びその避難経路等について、町内会と協議のうえ、誘導看板を設置した。 【誘導看板設置実績】 ○設置枚数：28枚 ○内訳 ●幌別鉄南地区：5枚 ●鷺別地区：23枚						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		看板設置数【累計】	枚	—	9	9	37	105

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ○地域住民と協議を行い避難経路や看板設置場所を決定することから、地域住民の意識の醸成につながるものと考え、設置場所との調整や必要な許可申請などもあり、設置完了までに時間を要する。 ○平成30年度頃に北海道で太平洋沿岸の津波浸水予測図の改訂が見込まれており、改訂後において、再度、現在指定している高台避難場所の適否について検討していく必要がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 津波浸水予測図において浸水が予測される地区と協議を行い、計画的に誘導看板の設置を進める。	今後の目標・計画【Plan】 高台の避難場所の周知や避難場所へ誘導するための看板を設置する。
	継続		
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ○誘導看板は平成26年度から平成30年度まで、各地区に計画的に設置することとしており、次のとおり設置する。 ●登別地区（設置予定枚数：11枚） ●中央地区（設置予定枚数：22枚） ●青葉地区（設置予定枚数：21枚） ●新生地区（設置予定枚数：14枚） ○設置にあたり、避難経路や設置場所について、事前に町内会等地域住民と協議するほか、設置に必要な許可申請などの手続きを行う。
【3次評価】	継続		

事務事業名 防災情報の伝達装置に係る維持管理経費

区分	No.	名称	部・グループ	総務部総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	総合防災対策の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	防災体制の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	防災施設及び設備の適正管理	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	防災行政無線（同報系）やJアラート受信機などの情報伝達装置を適切に維持管理し、常に正常に運用できるようにすることを目的とする。	前回評価
----	---	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 防災行政無線（同報系）やJアラート受信機などの情報伝達装置を適切に維持管理するとともに、より多くの市民が情報を得られるよう、情報伝達の仕組み等について市民周知を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ○防災行政無線（同報系）の定期的な保守点検の実施 ○Jアラート受信設備の保守の実施 ○衛星電話など災害時における情報通信手段の確保 ○登別市防災メールの自動配信サービスの利用 ○災害時の情報伝達等に関するリーフレットの配布	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 災害対策基本法、登別市地域防災計画、避難勧告等の判断伝達マニュアル	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民等

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		2,709	2,047	5,434	5,284	5,605
	合計			2,709	2,047	5,434	5,284	5,605

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ○防災行政無線（同報系）の定期的な保守点検の実施 親局設備や中継局、市内各所の屋外拡声子局などの定期的な保守点検を実施した。 ○メーカー電話対応保守によるJアラート受信設備の保守の実施 ○衛星電話など災害時における情報通信手段の確保 衛星電話にかかる通信費を負担したほか、無線の放送内容を電話で確認することができるよう専用ダイヤルを維持した。 ○登別市防災メールの自動配信サービスの利用 Jアラート自動起動装置と連携している登別市防災メールを運用した。 ○転入者を対象に災害時の情報伝達等に関するリーフレットを配付した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		登別市防災メールの登録者数（各年度3月末時点）	件	—	141	313	418	500

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題等を記入してください) ○災害時において3種類のメール配信サービスを活用しているが、そのうち2種類は、手動配信であり、配信までに時間を要する。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ ○防災行政無線（同報系）やJアラート受信機などの設備について、災害時において、適切に利用できるよう定期点検などの維持管理を継続して実施する。 ○Jアラート受信設備について、電話対応保守のほか、定期点検を年1回実施する。 ○災害時において3種類のメール配信サービスを活用しているが、そのうち2つは、手動配信であり、配信までに時間を要することから、Jアラート自動起動装置と連携している登別市防災メールへの移行を促す取組を進めていく。	今後の目標・計画【Plan】 目標 防災行政無線（同報系）やJアラート自動起動装置などの情報伝達装置を適切に維持管理するとともに、より多くの市民が情報を得られるよう、情報伝達の仕組み等について市民周知を図る。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ○防災行政無線（同報系）の定期的な保守点検の実施 ○Jアラート受信設備の保守の実施 ○衛星電話など災害時における情報通信手段の確保 ○登別市防災メールの自動配信サービスの利用 ○災害時の情報伝達等に関するリーフレットの配布
	【3次評価】		

事務事業名 防災資機材購入費補助事業

区分	No.	名称	部・グループ	総務部総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 9 年度
施策	1	総合防災対策の推進	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	3	防災体制の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	地域における防災体制の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	自主防災組織における防災活動に資する資機材の購入整備に対して補助金を交付することにより、地域における自主防災意識の高揚を図り、防災活動を積極的に推進することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 自主防災組織における、防災活動に資する資機材の購入整備を促進する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ○購入整備を希望する自主防災組織へ補助金を交付 ○自主防災組織における資機材の購入整備のニーズの把握及び次年度予算への反映	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 災害対策基本法、登別市地域防災計画、登別市防災資機材購入整備補助事業実施要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 自主防災組織

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金	地域づくり総合交付金		千円	900	800			
地方債			千円					
その他			千円					
一般財源			千円	1,000	972	1,100	107	2,000
	合計			1,900	1,772	1,100	107	2,000

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ○登別市防災資機材購入整備費補助金の交付 自主防災組織が整備する資機材について、登別市防災資機材購入整備費補助事業実施要綱に基づき、自主防災組織の規模に応じて購入整備費を補助した。 【交付実績】 前年度の時点で活用を希望していた4団体のうち1団体から交付申請があり、補助金を交付した。 ●補助金交付自主防災組織 : 旭ヶ丘町内会 ●補助金交付額 : 106,668円(2回目の活用であり、補助対象経費の合計額の2/3相当額を補助。) ○自主防災組織における資機材の購入整備のニーズの把握及び次年度予算への反映 ●各町内会等が主催する研修会・防災訓練において制度を周知したほか、平成28年10月に自主防災組織を設立していない町内会及び補助金を活用していない自主防災組織へ文書を発送し、制度を周知した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		当該補助金活用団体数	団体	5	3	6	1	4

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ○自主防災組織が整備を希望する資機材が多様化していることから、補助対象となる資機材について、今後精査していく必要がある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 自主防災組織結成の一助となることから、今後も継続して事業を推進する。	今後の目標・計画【Plan】 目標 自主防災組織における、防災活動に資する資機材の購入整備を促進する。 計画 ○資機材の購入整備を希望する自主防災組織へ補助金を交付 ○自主防災組織における資機材の購入整備のニーズの把握及び次年度予算への反映 ○制度の更なる周知のため、市ホームページへ制度概要を掲載
	継続	行政評価会議及び総合	
	【2次評価】	継続	
【3次評価】	継続		

事務事業名 地域防災組織の構築

区分	No.	名称	部・グループ	総務部総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	総合防災対策の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	防災体制の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	4	地域における防災体制の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 災害等発生時に地域の安全を確保するため、住民間の共助の精神に基づく自主的な防災活動を行うことにより、災害発生時の被害の防止及び軽減を目的とした自主防災組織の結成を促進することを目的とする。

前回評価

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 自主防災組織の結成を促進するとともに、既存の自主防災組織活動の活性化を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ○自主防災組織等研修会の開催	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 災害対策基本法、登別市地域防災計画	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 町内会等、自主防災組織等

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		0	0	0	0	
合計				0	0	0	0	

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ○自主防災組織等研修会の開催 次のとおり開催し、自主防災組織の役割・必要性などについて啓発を図った。 ●平成28年度自主防災組織研修会 【開催概要】 ・日時 : 平成29年3月28日(火) 18時～ ・場所 : 登別市民会館 2階 中ホール ・出席者 : 60名(うち自主防災組織参加者49名、未設立参加者9名、その他2名) ・内容 : 登別市における平成28年度の災害の状況の説明、北海道版避難所運営ゲーム(通称:Doはぐ)の実施	
		指標	
		自主防災組織加盟町内会数	74
		自主防災組織率(自主防災組織加盟世帯数/町内会加盟世帯数)	87

課題等の状況 平成28年度 (事務事業の実施における課題等を記入してください)
○平成28年度自主防災組織研修会の終了後のアンケートにおいて、次のような意見があった。
●内容が難しい(回数を重ねることが必要。)
●北海道版避難所運営ゲーム(通称:Doはぐ)について、町内会や自主防災組織の研修にも取り入れてほしい。
●要配慮者への対応について研修を受けたい。
●救急救命訓練を受けてみたい。

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ ○今後も研修会などを通じて、自主防災組織の役割・必要性などについて啓発を行い、自主防災組織の結成を促進と組織活動の活性化を図っていく。 ○研修内容については、アンケート結果を踏まえながら、検討していく。 ○北海道版避難所運営ゲーム(通称:Doはぐ)については、町内会等や自主防災組織等が主催する研修会において、講師派遣依頼があった際、紹介するとともに実施を促していく。	今後の目標・計画【Plan】 自主防災組織の結成を促進するとともに、既存の自主防災組織活動の活性化を図る。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	目標 ○自主防災組織等研修会の開催
	【3次評価】		計画

継続
継続
継続

事務事業名 防災対策強化事業

区分	No.	名称	部・グループ	総務部総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 24 年度
施策	1	総合防災対策の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	防災体制の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	5	非常用備蓄品の整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	東日本大震災を教訓に、津波に対する市民の一層の意識高揚を図るとともに、大規模停電をはじめ、各種災害等に対応する備品等を整備し、防災対策の強化を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別市備蓄整備方針に基づき備蓄品の整備に努める。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ○備蓄品の適正な管理（在庫数・使用期限等の把握） ○備蓄品の購入及び配備 【購入予定】非常食（4,600食）、育児用ミルク（420食）、乾電池（300本）、備蓄燃料（306L）	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 太平洋沿岸の津波浸水予測図、登別市地域防災計画、登別市備蓄整備方針	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 災害時において避難する市民等

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金	地域づくり総合交付金		千円	2,000	1,900			
地方債			千円					
その他	北海道市町村振興協会交付金、ふるさとまちづくり応援基金繰入金等		千円		1,660	566		
一般財源			千円	2,353	574	1,038	1,604	1,604
	合計			4,353	4,134	1,604	1,604	1,604

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ○備蓄品の在庫数・使用期限などを確認し、備蓄整備方針に基づき、防災備品等を購入し、分散備蓄した。 【購入実績】 ●非常食 : 4,600食 ●育児用ミルク : 420食 ●乾電池 : 300本 ●備蓄燃料 : 295L						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		非常食の備蓄数【累計】	食	12,532	16,482	19,382	20,822	21,900
	発電機の備蓄台数【累計】	台	8	11	15	15	15	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ○市内15施設に分散備蓄していることから、備蓄品の定期的な点検・管理に時間を要する。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ 備蓄品の定期的な点検等により、適切な管理を行う。	今後の目標・計画【Plan】 登別市備蓄整備方針に基づき備蓄品の整備に努める。 ○備蓄品の適正な管理（在庫数・使用期限等の把握） ○備蓄品の購入及び配備 【購入予定】 ●非常食（4,600食） ●育児用ミルク（420食） ●乾電池（300本） ●備蓄燃料（306L）
	継続		
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
	継続		
【3次評価】	継続		

事務事業名 **林業振興経費**

区分	No.	名称	部・グループ	観光経済部農林水産G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	総合防災対策の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	4	治山対策の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	治山事業の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	急傾斜地の保護などを行うことにより、地域住民の安全を確保するとともに、生活環境の向上を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	-----------

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 急傾斜地の保護などを行い、地域住民の安全の確保を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 治山施設の維持補修を行う。 保安林内の支障立木の枝払い等を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	765	560	731	677	815
	合計		765	560	731	677	815

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 森林の保護や治山施設の効果を高めるため、治山施設の点検と維持補修、保安林の保護等を行った。 【主な事業実施内容】 治山施設の維持補修 保安林内支障立木枝払い						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		施設等の修繕箇所	箇所	6	3	3	3	5

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし。
-----------------	--------	-------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	保安林内及び治山施設の維持管理を行い、引き続き被害の防止に取り組む。	目標 急傾斜地の保護などを行い、地域住民の安全の確保を図る。 計画 治山施設の維持補修を行う。 保安林内の支障立木の枝払い等を行う。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
継続	【3次評価】		
継続			

事務事業名 河川維持補修事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部土木・公園G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	総合防災対策の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	5	治水・雨水対策の推進	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	治水事業の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	河川の適切な維持管理を行うことにより、治水対策の推進及び環境維持・安全性の向上を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 河川を適正に管理することで市民の安全・安心を確保する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・破損した護岸やフェンス等河川施設の修繕を行う。 ・上鷲別富岸川外6河川の草刈を6月から8月の間に1回実施する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 河川法及び登別市普通河川管理条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 準用河川及び普通河川

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		4,427	4,747	4,518	4,517	4,572
	合計			4,427	4,747	4,518	4,517	4,572

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 河川フェンスの修繕、河川築堤の草刈等を実施した。 ○上鷲別富岸川フェンス補修等 一式 ○河川築堤草刈委託(全7河川)						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		草刈委託を行う河川数	河川	7	7	7	7	7

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・資材費の高騰や労務単価の上昇により必要経費が増加傾向にある。 ・町内会や近隣住民が草刈りを行っていた箇所などが、高齢化により難しくなってきたので市で行ってほしいという要望が増加している。 ・施設の老朽化対策
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	今後も河川の草刈りや修繕を継続して行う。	目標 今後も河川を適正に管理することにより、市民の安全確保や生活環境の維持に努める。 計画 草刈りや修繕を継続して実施する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
継続	【3次評価】		
継続			

事務事業名 **ポンヤンケシ川改修事業**

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部土木・公園G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成22年度
施策	1	総合防災対策の推進	終了年度	平成28年度
基本的な方向	5	治水・雨水対策の推進	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	治水事業の推進	大型事業推進プラン	登載事業

目的	適切な河川整備を行うことにより、治水対策の推進を図ることを目的とする。	前回評価	終了
----	-------------------------------------	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 予定している用地買収及び工事発注を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・用地買収終了後河川防護柵の工事を雪が降る前に完了させる。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 河川法及び登別市普通河川管理条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) ポンヤンケシ川

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円	10,800	11,200	8,500	8,100	
その他		千円					
一般財源		千円	1,260	1,264	1,000	928	
合計			12,060	12,464	9,500	9,028	0

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・河川防護柵 : L=100m ・用地買収 : 一式 平成28年度をもって終了						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	護岸工事		m					
	河川防護柵		m			206	100	

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
-----------------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	終了		目標
	平成28年度		計画
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
終了			
【3次評価】			
終了			

事務事業名 道路排水対策（雨水対策）事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部土木・公園G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 23 年度
施策	1	総合防災対策の推進	終了年度	平成 32 年度
基本的な方向	5	治水・雨水対策の推進	事業区分	ハード事業
主要な施策	2	雨水・浸水対策事業の推進	大型事業推進プラン	登載事業

目的	道路排水対策事業を行うことにより、大雨に伴う道路冠水による交通障害、宅面浸水等の被害防除を目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 事業を実施することにより、冠水地域に住んでいる市民の安全・安心を確保する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・予定している工事箇所について計画どおり事業を実施する。 ・実施設計を行うにあたり、低コストで最大限の効果を発揮できるような工法を選択する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 道路法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市道

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円		145,200	140,200	135,000	151,900	154,900
その他		千円						
一般財源		千円		32,450	44,804	34,700	14,983	31,100
合計				177,650	185,004	169,700	166,883	186,000

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 大雨に伴う道路冠水多発地域を対象に、道路排水対策実施計画に基づき、排水路改良、排水路清掃など次の事業を実施した。 【事業実績】 ・実測実施設計 : 4箇所 ・排水対策工事 : 5箇所 ・排水清掃 ・河川浚渫(徳消川、上鷲別富岸川) ・家屋調査 道路排水対策実施計画に基づき、計画的に排水路改良、排水路清掃などを進めていく。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		対策工事実施箇所	か所		3	5	5	5
		ポンプ設置	か所		1	-	1	-

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・資材費の高騰や労務単価の上昇、諸経費率の変更に伴い予算が増加傾向にある。 ・今まで冠水していなかった路線が冠水するようになってきている。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ ・事業の最終年度が近づいてきたため残りの工事箇所の費用の精査を行う。 ・現在工事を行っている路線以外の箇所について、対策工事が必要かの検証を行う。 ・対策工事が必要な箇所の精査を行った結果、事業の最終年度を延長する可能性がある。	今後の目標・計画【Plan】 目標 事業を実施することにより、冠水地域に住んでいる市民の安全・安心を確保する。 計画 ・予定している工事箇所について計画どおり事業を実施する。 ・実施設計を行うにあたり、低コストで最大限の効果を発揮できるような工法を選択する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
	【3次評価】		

継続

継続

継続

事務事業名 防火・防災管理体制の強化事業

区分	No.	名称	部・グループ	消防総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	2	消防・救急救助体制の充実	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	火災予防活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	防火思想の普及	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	事業所等の火災の予防及び火災や災害による被害の軽減を目的とする。	前回評価
----	----------------------------------	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 重大な消防法令違反事業所を重点的に査察を実施し、防火・防災管理体制の強化充実を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・消防法令違反対象物（消防用設備未設置事業所や防火管理者未選任事業所）を重点的に査察を実施する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 消防法、登別市火災予防条例	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 事業所等

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円						
合計				0	0	0	0	

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 規模の大きい事業所67件及び消防法違反事業所14件の立入検査を行い、重大な消防法令違反事業所6件について違反の是正に至った。				
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績
		是正件数	件			

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 違反事業所の是正が図られない。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	立入検査等（行政指導）を実施するが、是正等が見られない事業所については違反処理（行政処分）も視野に入れ指導を実施する。	目標 重大な消防法違反事業所を重点的に査察を実施し、防火・防災管理体制の強化充実を図る。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 例年実施している規模の大きい事業所の立入検査とは別に消防法令違反事業所に対し立入検査を実施、違反状況を把握し、是正に向けて指導を行う。
【3次評価】	継続		

事務事業名 火災予防普及事業

区分	No.	名称	部・グループ	消防総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	2	消防・救急救助体制の充実	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	火災予防活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	防火思想の普及	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市民や地域、事業所等の防火意識の普及啓発を目的とする。	前回評価
----	-----------------------------	------

概要 Plan	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 防火意識の普及啓発を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 市広報紙・ホームページ等による広報活動を実施するとともに、地域の防火懇談会や事業所等の消防訓練を通して火災の恐ろしさ・予防法等を周知し、防火意識の普及啓発を図る。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 消防法、登別市火災予防条例	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 事業所等

事業費 (財源内訳) Plan ↓ Do	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	千円					
	道支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
合計			0	0	0	0	0

事務事業の成果・改善の状況 Do	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市広報紙・ホームページ等による広報活動を実施するとともに、地域の防火懇談会や事業所等の消防訓練を通して火災の恐ろしさ・予防法等を周知し、防火意識の普及啓発を図った。				
	指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
	火災発生件数	件	9	15	17	13

課題等の状況 Check	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
-----------------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	継続して実施する。	目標 防火意識の普及啓発を図る。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 市広報紙・ホームページ等による広報活動を実施するとともに、地域の防火懇談会や事業所等の消防訓練を通して火災の恐ろしさ・予防法等を周知し、防火意識の普及啓発を図る。
【3次評価】	継続		

事務事業名 防火管理講習会事業

区分	No.	名称	部・グループ	消防総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	2	消防・救急救助体制の充実	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	火災予防活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	防火思想の普及	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	防火管理講習会を開催し、防火管理者を育成することを目的とする。	前回評価	
----	---------------------------------	------	--

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市内の防火管理者未選任事業所の根絶を目的とする。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 防火管理者未選任事業所に対して防火管理講習会の受講を促す。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 消防法、登別市火災予防条例	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 事業所等

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	千円					
	道支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
合計			0	0	0	0	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 防火管理講習会を開催し、防火管理者の選任義務がある事業所等に受講を促すとともに、各種事業所等へ防火管理体制の強化を行った。 ・火災予防の知識をつけるための講習会を開催						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		防火管理講習会受講者	人	81	57	50	89	70

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
--------	--------	----------------------------

評価	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
【1次評価】	担当グループ	目標 市内の防火管理者未選任事業所の根絶を目的とする。 計画 立入検査時に事業主に対して防火管理の必要性・重要性を説明し、講習会の受講を促す。
継続	継続して実施する。	
【2次評価】	行政評価会議及び総合	
継続		
【3次評価】		
継続		

事務事業名 住宅用火災警報器普及事業

区分	No.	名称	部・グループ	消防総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	2	消防・救急救助体制の充実	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	火災予防活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	防火思想の普及	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	一般家庭に住宅用火災警報器の有効性を周知し、設置率の更なる向上と維持管理の徹底を目的とする。	前回評価
----	--	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 設置率の向上と維持管理方法等の周知を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・設置から10年が経過する時期のため日頃の維持管理に重点をおき指導する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 消防法、登別市火災予防条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円						
合計				0	0	0	0	

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 毎年実施している住宅用火災警報器設置率調査や火災予防街頭啓発活動等の機会に、火災警報器の有効性・維持管理法を市民に周知することができた。				
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績
		住宅用火災警報器設置率	%			86.0

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 広報紙やホームページ等を活用し、できる限り幅広い市民への周知を継続的に行う必要がある。未設置世帯への設置に向けた指導を継続して実施することが必要である。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	継続して実施する。	目標 設置率の向上と維持管理方法等の周知を行う。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 効率的な周知方法を考案し設置率の向上及び維持管理の徹底を行う。
【3次評価】	継続		

事務事業名 危険物施設の予防査察事業

区分	No.	名称	部・グループ	消防総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	2	消防・救急救助体制の充実	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	火災予防活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	防火査察の徹底	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	災害が発生すると大きな被害が想定される危険物施設に対して定期的に査察を実施し、事業者者に法で定める技術基準遵守を徹底させ、危険物災害の防止を図る。	前回評価
----	---	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 計画的な立入検査を行い危険物災害の防止を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・移動タンク貯蔵所及び給油取扱所を中心に立入検査を実施する。 ・その他の危険物施設についても計画的に立入検査を実施する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 消防法	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 事業所等

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円						
合計				0	0	0	0	

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・移動タンク貯蔵所32施設立入検査を実施した。 ・危険物施設69施設の立入検査を実施した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		危険物施設立入検査数	件	69	62	85	101	-

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 移動タンク貯蔵所は繁忙期を避けるため7月に実施したが、市内の危険物施設数が多数あることから全施設の立入検査を実施することが困難であり計画的に実施することとした。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	計画的に立入検査を実施し、危険物災害の防止を図る。	目標 計画的な立入検査を行い危険物災害の防止を図る。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 移動タンク貯蔵所及び給油取扱所を中心に立入検査を実施する。 また、老朽化施設又は許認可後年数が経過した施設を優先的に立入検査を行う。
【3次評価】	継続		

事務事業名 一人暮らし等高齢者査察事業

区分	No.	名称	部・グループ	消防総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	2	消防・救急救助体制の充実	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	火災予防活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	防火査察の徹底	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	一人暮らし等高齢者宅の火災予防を目的とする。	前回評価	
----	------------------------	------	--

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 一人暮らし等高齢者宅の火災予防を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 暖房を使い始める時期に合わせて消防職団員が一人暮らし等高齢者宅各戸を訪問し、火の取扱いの注意や、住宅用火災警報器の設置・維持管理促進を行い、住宅火災による死者・負傷者の低減を図る。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円					
	合計		0	0	0	0	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 暖房を使い始める時期に合わせて消防職団員が一人暮らし等高齢者宅を訪問し、火の取扱い及び住宅用火災警報器の設置・維持管理促進を行い、住宅火災による死者・負傷者の低減を図った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		個別訪問実施件数	件	2,402	2,432	2,221	2,280	2,300

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 高齢者世帯は年々増加傾向にあることから、今後は効率的な事業の実施方法の検討が必要である。
--------	--------	--

評価	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
【1次評価】	担当グループ	目標 一人暮らし等高齢者宅の火災予防を図る 計画 継続して事業の実施はしていくが、今後は効率的な事業の実施方法の検討を行う。
継続	継続して実施していく。	
【2次評価】	行政評価会議及び総合	
継続		
【3次評価】		
継続		

事務事業名 消防団安全装備品等購入事業

区分	No.	名称	部・グループ	消防総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 28 年度
施策	2	消防・救急救助体制の充実	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	火災予防活動の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	消防団の活性化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	消防団員の個人装備品である資器材の充実強化を図ることにより、消防団の活気ある活動と消防力の充実に図ることを目的とする	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 消防団員が継続的に災害活動を行うため、安全装備品を購入する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 消防団員が継続的に災害活動を行うため、新入団員貸与品、経年劣化した貸与品、雨衣、保安帽等を購入する。 ・保安帽 80個 ・雨具 80着	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律、消防組織法（第23条第2項）、消防庁の定める基準（消防団の装備の基準） 登別市消防団条例 登別消防団規則	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 消防団員

事業費（財源内訳）	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円			1,697	1,697	1,691
合計			0	0	1,697	1,697	1,691

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 消防団員が継続的に災害活動を行うため、新入団員貸与品、経年劣化した貸与品、雨衣、保安帽等を購入した。 ・新入団員貸与品 5名入団 ・貸与品 ・保安帽 80個 ・雨具 80着					
	指標						
		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	消防団員数	人	160	155	154	147	150

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 今後事業を継続するうえで、財源の確保が必要である。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・更新計画に基づき整備する。 ・今後も継続して財源確保のため補助申請を行う。	目標 消防団員が継続的に災害活動を行うため、安全装備品を購入する。 更新計画に基づき更新する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画
継続	【3次評価】		
継続			

事務事業名 空気呼吸器及びFRPボンベ更新事業

区分	No.	名称	部・グループ	消防総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 25 年度
施策	2	消防・救急救助体制の充実	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	消防力の強化・高度化	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	消防施設、機器整備の高度化と効率化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	空気呼吸器及び空気呼吸器用ポンペを計画的に更新することにより、現場活動時の隊員の安全を確保することを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 高圧ガス法に基づき製造から15年経過で廃棄となるため更新を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 空気呼吸器及び空気呼吸器用ポンペを計画的に更新する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	千円					
	道支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
合計			0	0	0	0	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 空気呼吸器及び空気呼吸器用ポンペを水槽付消防ポンプ自動車更新事業により更新した。 ・空気呼吸器 8基 ・空気呼吸器用ポンベ 8本					
	指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	空気呼吸器	基	9	0	0	8	0
	空気呼吸器用ポンベ	本	23	12	0	8	0

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 高圧ガス法等に基づき、廃棄基準があるため、更新する必要があるため、計画的な整備を進めることができている。 今後は消防車両等更新事業を踏まえ更新するが、上記事業がない場合は空気呼吸器及びFRPボンベ更新事業で更新していく。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	高圧ガス法等に基づき、廃棄基準があるため、更新する必要があるため、計画的な整備を進めていく	目標 高圧ガス法等に基づき、廃棄基準があるため、更新する必要があるため、計画的な整備を進めていく
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 高圧ガス法等に基づき、廃棄基準があるため、更新する必要があるため、計画的な整備を進めていく
【3次評価】	継続		

事務事業名 多目的支援車更新事業

区分	No.	名称	部・グループ	消防総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 28 年度
施策	2	消防・救急救助体制の充実	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	消防力の強化・高度化	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	消防施設、機器整備の高度化と効率化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	多目的支援車を更新し、多種多様な災害現場へ迅速かつ的確に消防力を投入し、安全確実な消防活動を行うことを目的とする。	前回評価
----	---	------

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 人員・資器材搬送並び水難救助等に対応するため更新する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 平成10年に購入した救急自動車を平成21年度から再利用を行っている車両であり、災害発生時には人員・資器材の搬送、更には水難救助等に幅広く使用されている車両で、購入から17年経過していることから、車体の腐食が著しく修理を繰り返す状態にあるため支援車1台更新する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)

Plan Do 事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金	石油貯蔵施設立地対策等交付金	千円			12,000	12,000	
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円			1,209	1,147	
合計				0	0	13,209	13,147	0

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 多目的支援車を更新した。 ・更新台数 1台						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		多目的支援車	台				1	

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 次期の更新時期を見据えて検討する。
-----------------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	終了	次期の更新時期を見据えて検討する。	目標 事業終了
	平成28年度	行政評価会議及び総合	計画
	【2次評価】		
終了			
【3次評価】			
終了			

事務事業名 水槽付消防ポンプ自動車更新事業

区分	No.	名称	部・グループ	消防総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 28 年度
施策	2	消防・救急救助体制の充実	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	消防力の強化・高度化	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	消防施設、機器整備の高度化と効率化	大型事業推進プラン	登載事業

目的	経年劣化により消防ポンプ機能の低下や車両整備に係る部品等の調達が困難であるため更新を図り、火災等に対し迅速かつ的確に消火活動を行える体制の確保を目的とする。	前回評価
----	--	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 水槽付消防ポンプ自動車を更新する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 水槽付消防ポンプ自動車を更新する。 ・登別温泉支署配置車両 1台 ・鷲別支署配置車両 1台	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債	緊急防災・減災事業債	千円			91,200	91,200	
	その他		千円					
	一般財源		千円			545	513	
合計				0	0	91,745	91,713	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 水槽付消防ポンプ自動車を更新した。 ・登別温泉支署配置車両 1台 ・鷲別支署配置車両 1台						
	指標		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	水槽付消防ポンプ自動車		台				2	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 老朽化によるポンプ機能の低下や部品の生産状況を考慮し計画的な更新を図る。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	老朽化によるポンプ機能の低下や部品の生産状況を考慮し計画的な更新を図る。	目標 老朽化によるポンプ機能の低下や部品の生産状況を考慮し計画的な更新を図る。 計画 平成30年度に消防署配置車両1台更新予定
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
【3次評価】	継続		

事務事業名 消防支署新庁舎建設事業

区分	No.	名称	部・グループ	消防総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 28 年度
施策	2	消防・救急救助体制の充実	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	消防力の強化・高度化	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	消防施設、機器整備の高度化と効率化	大型事業推進プラン	登載事業

目的	登別温泉支署・登別支署を統合し、より効率的かつ効果的な消防体制の強化を図ることを目的とする。	前回評価
----	--	------

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 用地を確定するため、地形・地質調査、測量及び基本設計の一部を先行した検討業務を実施する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・地形・地質調査 ・測量調査 ・基本設計の一部を先行した検討業務	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市公共移設整備方針	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 消防支署

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債	消防・防災施設整備事業債	千円					54,300
その他		千円					
一般財源		千円			8,438	6,058	26,193
合計			0	0	8,438	6,058	80,493

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 消防庁舎は、老朽化等のため耐震性に問題があり、また、土砂災害、火山災害、津波浸水対策等のさまざまな課題を抱えていることから、中登別町に登別温泉支署・登別支署の統合庁舎を建設する。 ・用地を確定するため、地形・地質調査、測量及び基本設計の一部を先行した検討業務を実施した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
-----------------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	平成32年度の供用開始に向けて事業を進める。	目標 平成29年度は建設用地を取得し、基本・実施設計を実施する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 平成32年度の供用開始に向けて事業を進める。 ・平成30年度建設工事・造成工事 ・平成31年度建設工事・外構工事 ・平成32年度竣工
【3次評価】	継続		

事務事業名 消防学校派遣事業

区分	No.	名称	部・グループ	消防総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	2	消防・救急救助体制の充実	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	消防力の強化・高度化	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	消防施設、機器整備の高度化と効率化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	消防業務及び救急業務等の専門知識を修得し、多種多様な現場活動に対応する人材の育成を行い、消防体制の強化を図ることを目的とする。	前回評価
----	---	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 消防業務及び救急業務等の専門知識を修得し、多種多様な現場活動に対応する人材の育成する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 北海道消防学校（江別市）へ入校し、初任教育5か月間、救急科2か月間など各課程定められた期間受講する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 消防職員

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金			千円					
地方債			千円					
その他	救急救命士追加講習受講経費助成金		千円					366
一般財源			千円	3,478	3,061	2,824	2,316	2,765
	合計			3,478	3,061	2,824	2,316	3,131

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 10課程19名受講した。 ・初任教育 2名 ・救急科 1名 ・はしご車運用課程 1名 ・救助科 1名 ・予防査察科 1名 ・水難救助課程 1名 ・都市型救助課程 1名 ・気管挿管再認定講習 5名 ・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習 3名 ・処置拡大2項目 3名						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		消防学校派遣者数	人	14	19	25	19	14

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 継続して事業を実施していく。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	消防業務及び救急業務等の専門知識を修得し、多種多様な現場活動に対応する人材の育成する。	目標 消防業務及び救急業務等の専門知識を修得し、多種多様な現場活動に対応する人材の育成する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 6課程15名受講予定 ・初任教育 3名 ・救急科 2名 ・火災調査科 1名 ・気管挿管再認定講習 4名 ・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習 2名 ・処置拡大2項目 3名
【3次評価】	継続		

事務事業名 水難救助資器材更新事業

区分	No.	名称	部・グループ	消防警備G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 12 年度
施策	2	消防・救急救助体制の充実	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	消防力の強化・高度化	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	消防施設、機器整備の高度化と効率化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	資器材更新計画に基づき、水難救助資器材を更新することにより、水難救助隊員の安全確保及び救助活動の強化を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 資器材更新計画に基づき、水難救助資器材を更新する	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 耐用年数又は劣化状況に応じて、水難救助資器材を更新する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金	石油貯蔵施設立地対策等交付金		千円	500	500			
地方債			千円					
その他			千円					
一般財源			千円	130	114	890	886	899
	合計			630	614	890	886	899

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 更新計画に基づき、水難救助資器材を更新した。 ・ドライスーツ 2着 ・オクトパス 4器 ・スキューバ用空気ボンベ 4本						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		水難救助隊員数	人	10	10	10	10	10

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 資器材更新計画に基づき、水難救助資器材を更新する。 新しい資器材等を考慮して事業の内容を検討する。
--------	--------	--

評価		今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
継続	【1次評価】	担当グループ	目標 資器材更新計画に基づき、水難救助資器材を更新する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 平成29年度は下記を更新する。 ドライスーツ 2着 オクトパス 2器 BCジャケット 1式 スキューバ用空気ボンベ 3本
	【3次評価】		

事務事業名 大規模災害用備蓄器具等整備事業

区分	No.	名称	部・グループ	消防警備G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 25 年度
施策	2	消防・救急救助体制の充実	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	消防力の強化・高度化	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	消防施設、機器整備の高度化と効率化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 老朽化した資器材を整備することにより、大規模災害時の救助活動の円滑化・効率化と災害派遣時の資器材確保を目的とする。

前回評価 維持

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・エンジンカッター・チェーンソーの更新は、水槽付消防ポンプ自動車更新事業で更新することとした。 ・救助工作車積載のスタティックロープを更新する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民

事業費(財源内訳)		名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金			千円					
道支出金		石油貯蔵施設立地対策等交付金	千円	350	350			
地方債			千円					
その他			千円					
一般財源			千円	75	54	517	516	191
合計				425	404	517	516	191

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 水槽付消防ポンプ自動車更新事業にて更新した。 ・エンジンカッター(替刃等付属品含む) 1式 ・チェーンソー(替刃等付属品含む) 1式 救助工作車積載のスタティックロープを更新した。 ・スタティックロープ 3本						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		組立式水槽	基			2		
		スタティックロープ	本				3	
		エンジンカッター購入数※替刃等の付属品を含む	式	2	1	1	1	
		チェーンソー購入数※替刃等の付属品を含む	式		1	1	1	1

課題等の状況 平成28年度 (事務事業の実施における課題点等を記入してください)

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	事業の見直しを行う。	目標 事業の見直しを行い、更新計画等の作成を検討する。 計画 車両事業で実施していることから、事業のあり方の検討を含めて協議をする。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
継続	【3次評価】		
継続			

事務事業名 消防職員防火衣更新事業

区分	No.	名称	部・グループ	消防総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 28 年度
施策	2	消防・救急救助体制の充実	終了年度	平成 31 年度
基本的な方向	2	消防力の強化・高度化	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	消防施設、機器整備の高度化と効率化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	消防活動の強化・高度化を図ることを目的とする。	前回評価
----	-------------------------	------

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 防火性能の低下や経年劣化が著しいことから、消火活動を迅速に行うため、消防職員防火衣（一式）を更新する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 消防職員防火衣更新事業について検討を行う。 ・防火衣仕様について協議する。 ・更新計画策定する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 消防職員

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金	石油貯蔵施設立地対策交付金		千円					5,500
地方債			千円					
その他			千円					
一般財源			千円					986
	合計			0	0	0	0	6,486

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 消防職員防火衣更新事業について検討を行った。 ・防火衣の仕様決定 ・更新計画に基づき平成29～31年度3カ年で消防職員防火衣72式更新することとした。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		消防職員防火衣	一式				-	25

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 更新計画に基づき実施する。
-----------------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	更新計画に基づき実施する	目標 更新計画に基づき実施する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 平成29年度は25式更新する。
【3次評価】	継続		

事務事業名 分団詰所建設事業（解体含む）

区分	No.	名称	部・グループ	消防総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 28 年度
施策	2	消防・救急救助体制の充実	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	消防力の強化・高度化	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	消防施設、機器整備の高度化と効率化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	老朽化した分団詰所（車庫）を解体するとともに、新たに分団詰所を建設することにより、地域の防災力の強化を図ることを目的とする。	前回評価
----	--	------

Plan 概要	目標	（平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください） 富浦分団詰所及び車庫を解体する。	
	計画	（目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください） 昭和47年に建設した富浦分団詰所及び車庫は、老朽化が著しく、分団詰所は使用できない状況であることから、老朽化により危険な状態にある分団詰所（車庫）を解体するとともに、新たに分団詰所を建設する。	
	根拠	（根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入）	対象 （ハード事業の場合は、施設名を記入） 富浦分団詰所及び車庫

Plan ↓ Do 事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円					
合計				0	0	0	0	0

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	（実績を簡潔に記入してください） ・他の公共施設の解体施設計画を考慮し、検討することとした。 ・老朽化した富浦分団の拠点施設を富浦会館内に設置した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		富浦分団施設詰所及び車庫解体	棟				-	-
		施設新築	棟				-	-

Check 課題等の状況	平成28年度	（事務事業の実施における課題点等を記入してください） 老朽化に伴い解体が必要である。
-----------------	--------	---

評価	今後の取組【Action】		今後の目標・計画【Plan】	
	【1次評価】	担当グループ	目標	解体整備について継続協議を実施
継続	関係部局と協議	計画		将来の消防団のあり方を策定し、各分団施設を鑑み整備をしていく。
【2次評価】	行政評価会議及び総合			
継続				
【3次評価】				
継続				

事務事業名 消防署鷺別支署外壁等補修工事業

区分	No.	名称	部・グループ	消防総務G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 28 年度
施策	2	消防・救急救助体制の充実	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	消防力の強化・高度化	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	消防施設、機器整備の高度化と効率化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	消防署鷺別支署は、昭和59年に建設し30年以上経過しており、外壁等のひび割れやコンクリートの剥離等が発生している状態であるため、補修工事を行い災害活動拠点である消防施設の維持を目的とする。	前回評価
----	--	------

概要 Plan	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 消防署鷺別支署の庁舎補修を行い、維持管理及び延命を図ることを目的とする。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・庁舎外壁修繕 ・事務室及び食堂クロス交換修繕 ・食堂配管交換修繕	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 消防署鷺別支署

事業費 (財源内訳) Plan ↓ Do	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	千円					
	道支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
合計			0	0	0	0	0

事務事業の成果・改善の状況 Do	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・修繕計画を4カ年で実施すると定めた。 ・台所及び一部配管交換修繕を実施した。 ・予算については、消防施設費で対応した。					
	指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

課題等の状況 Check	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・消防施設費の執行状況を考慮して修繕を実施していく必要がある。
-----------------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	個々に修繕を実施する。	目標 消防署鷺別支署の外壁等のひび割れやコンクリートの剥離等の補修を行う。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 庁舎の劣化が著しい箇所を優先順位を付け、計画的に修繕を行う。
【3次評価】	継続		

事務事業名 除雪機械購入事業

区分	No.	名称	部・グループ	消防警備G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成28年度
施策	2	消防・救急救助体制の充実	終了年度	平成28年度
基本的な方向	2	消防力の強化・高度化	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	消防施設、機器整備の高度化と効率化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	緊急車両の安全・迅速に出動することを目的とする。	前回評価
----	--------------------------	------

概要 Plan	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 除雪機を購入し迅速な出動が確保する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 消防車庫前は、降雪時、緊急車両の迅速な出動に備え、少ない人力で除雪を行っているが、大雪に対しては困難を極めている。このことから、機械を導入し、機動力を向上させることにより、迅速な出動が確保する。 ・除雪機1台購入する	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)

事業費(財源内訳) Plan↓Do	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円				294	
	合計		0	0	0	294	0

事務事業の成果・改善の状況 Do	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 消防庁舎及び市役所本庁舎を訪れる市民のためになることから、本庁舎及び第二庁舎、消防車庫前の除雪に使用するため購入した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		除雪機	台				1	

課題等の状況 Check	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 更新時期見据えて、今後協議を再開する。
-----------------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	終了		
	平成28年度		
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
【3次評価】	終了		
終了			

事務事業名	交通安全推進事業
-------	----------

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部市民サービスG
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	3	交通安全の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	交通安全意識の高揚	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	交通安全に関する意識啓発の強化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	交通安全運動等を実施して市民の交通安全意識を高め、悲惨な交通事故を減少させることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別市交通安全計画に基づき、交通安全意識を高め、交通事故防止の徹底を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ○新入学児童に対する交通安全啓発運動 ○ジャンボ街頭啓発運動 ○高齢者交通安全啓発運動 ○人と旗の波街頭啓発運動 ○パトライト夜間街頭啓発運動 ○飲酒運転根絶運動 ○交通安全標語の募集・表彰 ○歳末交通安全啓発運動 ○交通安全歳末特別警戒運動	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 交通安全対策基本法、北海道交通安全基本条例、登別市交通安全条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民、事業者（登別市交通安全条例）

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他	自動車臨時運行許可申請手数料、北海道交通安全指導員連絡協議会交通安全被服等整備事業助成金、交通傷害保険事務取扱委託料	千円	664	594	652	667	631
一般財源		千円	261	147	348	228	362
	合計		925	741	1,000	895	993

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 交通安全協会等の関係機関とも連携を図り、交通安全教育や全市的な交通安全運動を推進した。 【具体的な事業内容】 ・新入学児童に対する交通安全啓発運動（4月）・ジャンボ街頭啓発運動（6月）・高齢者交通安全啓発運動（適宜） ・人と旗の波街頭啓発運動（5回 市内8地区）・パトライト夜間街頭啓発運動（適宜）・二輪車交通安全啓発運動（適宜） ・交通安全標語の募集・表彰（12月）・歳末交通安全啓発運動、交通安全歳末特別警戒運動（12月） ・こぐまクラブ交通安全啓発運動（2月）・シートベルト調査（年4回）						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		交通事故死亡件数	件	1	0	1	0	0
		交通事故件数	件	136	110	120	78	110

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ○交通安全推進事業（啓発事業）は概ね、順調に進んでいる。 ○登別市交通安全指導員の高齢化が顕著となっている。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	○登別市交通安全計画に基づき、今後も市民の交通安全意識を高め、交通事故が減少するよう関係機関や各種団体と連携し、各種啓発活動等を実施する。	目標 登別市交通安全計画に基づき、交通安全意識を高め、交通事故防止の徹底を図る。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ○新入学児童に対する交通安全啓発運動 ○ジャンボ街頭啓発運動 ○高齢者交通安全啓発運動 ○人と旗の波街頭啓発運動 ○パトライト夜間街頭啓発運動 ○飲酒運転根絶運動 ○交通安全標語の募集・表彰 ○歳末交通安全啓発運動 ○交通安全歳末特別警戒運動
【3次評価】	継続		

事務事業名 交通安全協会交付金

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部市民サービスG
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	3	交通安全の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	交通安全意識の高揚	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	交通安全に関する意識啓発の強化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 交通安全の啓発活動等を行う交通安全協会の活動を支援することにより、市民の交通安全意識の高揚と交通事故の防止を図ることを目的とする。

前回評価 維持

Plan 概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
登別市交通安全計画に基づき、交通安全意識を高め、交通事故防止の徹底を図る。

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
○交通安全市民運動の推進 ○交通安全教育広報活動の推進 ○主要通学路等における交通安全指導員の立哨指導
○高齢者に対する交通安全思想の普及 ○市との共催の交通安全啓発活動の推進

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
交通安全対策基本法、北海道交通安全基本条例、登別市交通安全条例

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
登別市交通安全協会

Plan 事業費(財源内訳)

名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金	千円					
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円					
一般財源	千円	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300
合計		4,300	4,300	4,300	4,300	4,300

Do 事務事業の成果・改善の状況

平成28年度

(実績を簡潔に記入してください)
指導教育活動や広報活動などの活動を行う交通安全協会を支援した。
【協会の主な事業】
交通安全市民運動の推進、交通安全教育広報活動の推進、主要通学路等における交通安全指導員の立哨指導、高齢者に対する交通安全思想の普及

指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
交通事故死亡件数	件	1	0	1	0	0
交通事故件数	件	136	110	120	78	110

Check 課題等の状況

平成28年度

(事務事業の実施における課題点等を記入してください)

評価

【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
継続	○交通事故を減少させるためには、一人ひとりの交通安全意識や安全行動習慣の定着が不可欠であることから、今後も引き続き、市と登別市交通安全協会とが連携を密にしながら、交通安全対策を推進していく。	目標 交通安全意識を高め、交通事故防止の徹底を図る。 計画 ○交通安全市民運動の推進 ○交通安全教育広報活動の推進 ○主要通学路等における交通安全指導員の立哨指導 ○高齢者に対する交通安全思想の普及 ○市との共催の交通安全啓発活動の推進
【2次評価】	行政評価会議及び総合	
継続		
【3次評価】		
継続		

事務事業名 市民交通傷害保険事業

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部市民サービスG
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	昭和43年度
施策	3	交通安全の推進	終了年度	平成—年度
基本的な方向	1	交通安全意識の高揚	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	交通安全に関する意識啓発の強化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	交通事故により傷害を受けた市民を経済的に救済するために、少額の保険料で加入できる保険制度を提供することにより、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 安全に安心して暮らせるまちづくり推進するため市民が少額の保険料加入できる市民交通傷害保険の加入促進を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・広報紙及び市民サービス便りによる周知 ・チラシの配布（市内全戸） ・庁内メールでの職員周知 ・新入学生に配布する交通安全啓発物へのチラシの同封 ・町内会への回覧	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 交通安全対策基本法、登別市交通安全条例、登別市市民交通傷害保障条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民

事業費（財源内訳）		名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金			千円					
道支出金			千円					
地方債			千円					
その他		交通傷害保険料収入	千円	1,152	875	864	711	864
一般財源			千円					
		合計		1,152	875	864	711	864

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市民交通傷害保険について、広報のほりべつ（3月号）に加入啓発チラシ（A4版両面刷り）の折り込み、市民サービスグループだより（町内会回覧）、市HP、高齢者交通安全研修会等でPRを行うとともに、3月1日から本庁、各支所（若草分室含む）窓口で加入受付を行った。 【保険の内容】 ・保険期間：1年間（4月1日～翌年3月31日） ・保険料：1口360円（12ヶ月 一人2口まで） ・補償内容：事故によるケガ 1口あたり5千円～12万円まで 死亡保険金、後遺障害保険金、医療保険金 100万円まで						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		市民交通傷害保険給付件数（年度ベース）	件	2	3	6	7	0
	市民交通傷害保険加入人口数（年度ベース）	口	2,079	1,974	1,853	2,002	2,400	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 周知活動を行ったことにより加入人口数が増加した。今後においても周知活動を行い、加入人口数を維持し、あるいは増やしていく必要がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	引続き周知活動を行い加入促進に努める。	目標 安全に安心して暮らせるまちづくりを推進するため市民が少額の保険料で加入できる市民交通傷害保険の加入促進を図る。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ・広報紙及び市民サービス便りによる周知 ・チラシの配布（市内全戸） ・庁内メールでの職員周知 ・新入学生に配布する交通安全啓発物へのチラシの同封 ・町内会への回覧
【3次評価】	継続		

事務事業名 交通安全対策会議経費

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部市民サービスG
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 28 年度
施策	3	交通安全の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	交通安全意識の高揚	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	交通安全に関する意識啓発の強化	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	交通安全対策を総合的かつ計画的に推進し、交通事故の防止に努めることを目的とする。	前回評価
----	--	------

P l a n 概 要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別市交通安全計画に基づき、交通安全意識を高め、交通事故防止の徹底を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ○交通安全対策会議の開催 ○第10次登別市交通安全計画の策定	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 交通安全対策基本法、北海道交通安全基本条例、登別市交通安全条例、登別市交通安全対策会議設置要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 交通安全対策会議委員

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円			98	7	
	合計		0	0	98	7	0

D o 事 務 事 業 の 成 果 ・ 改 善 の 状 況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 交通安全計画の作成や、交通安全に関する施策について審議し、交通安全対策を推進した。 ・開催回数 1回 ・交通安全対策会議委員数 14名						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

C h e c k 課 題 等 の 状 況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ○概ね、順調に進んでいる。
---	--------	---

評 価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	引き続き、交通安全対策会議において決定された交通安全対策関係施策の推進を図る。	目標 登別市交通安全計画に基づき、交通安全意識を高め、交通事故防止の徹底を図る。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ○交通安全対策会議の開催 ○交通安全運動実施計画書の作成
【3次評価】	継続		

事務事業名 **カーブミラー設置事業**

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部市民サービスG
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	昭和 60 年度
施策	3	交通安全の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	交通安全施設の整備	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	交通安全施設の増設	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	見通しの悪いカーブや交差点での交通事故防止を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	-----------------------------------	------	-----------

概要 Plan	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 車及び歩行者の通行の安全を確保するため、カーブミラーを設置し、見えにくい場所を減らしていく。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ○町内会要望での要望箇所の把握 ○要望箇所の現場確認	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 交通安全対策基本法、北海道交通安全基本条例、登別市交通安全条例	対象 市民等

事業費(財源内訳) Plan/Do	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	344	148	221	200	365
	合計		344	148	221	200	365

事務事業の成果・改善の状況 Do	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 町内会の要望により、見通しの悪いカーブや交差点での交通事故防止を図るため、カーブミラーを設置した。 【設置数】 2箇所						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		交通事故件数	件	136	110	120	78	110

課題等の状況 Check	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ○暴風などにより、カーブミラーの傾きや落下するケースが発生している。 ○カーブミラーの老朽化が進んでいることから実態調査を実施する必要がある。
-----------------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	引き続き、町内会等を通じて危険箇所の把握に努め、見通しの悪いカーブや交差点にカーブミラーを設置する。	目標 車及び歩行者の通行の安全を確保するため、カーブミラーを設置し、見えにくい場所を減らしていく。 計画 ○町内会要望での要望箇所の把握 ○要望箇所の現場確認
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
【3次評価】	継続		

事務事業名 照明灯設置事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部土木・公園G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	3	交通安全の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	交通安全施設の整備	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	交通安全施設の増設	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。	前回評価	維持
----	----------------------------	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 道路照明灯を必要箇所に設置することにより、夜間交通の安全性の向上を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 町内会や小中学校等から要望があった箇所等について、関係グループと協議の上、必要箇所への照明灯の設置を進める。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 交通安全対策基本法、北海道交通安全基本条例、登別市交通安全条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市道

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	305	287	350	335	367
	合計		305	287	350	335	367

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 関係グループと協議を行い、照明灯の設置を行った。 ○設置数 2基						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		照明灯設置数	基	0	0	1	2	1

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・資材費の高騰や労務単価の上昇、諸経費率の変更に伴い必要経費が増加傾向にある。
-----------------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	今後も必要に応じ照明灯を設置していく	目標 今後も、必要な箇所に照明灯を設置し、交通の安全性の向上を図る。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 今後も町内会要望等を基に関係グループと協議を行い、照明灯の設置を推進する。
【3次評価】	継続		

事務事業名 **ロードマーク設置事業**

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部土木・公園G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	3	交通安全の推進	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	交通安全施設の整備	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	交通安全施設の増設	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	道路の中心線及び外側線等の復旧又は新設を行うことにより、通行車両の安全確保を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	-----------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 事業を実施することにより、通行車両の安全・安心を確保する	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 除雪や車両の通行により、摩耗した道路の中心線及び外側線等の復旧工事又は必要に応じ新設工事を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 交通安全対策基本法、北海道交通安全基本条例、登別市交通安全条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市道

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		1,500	1,415	1,500	1,383	1,500
	合計			1,500	1,415	1,500	1,383	1,500

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 除雪や車両の通行により、摩耗した道路の中心線及び外側線等の復旧工事又は必要に応じ新設工事を行った。 ○中央線 L=1,298m ○外側線 L=3,840m ○ドット線 L=223m						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・資材費の高騰や労務単価の上昇、諸経費率の変更に伴い経費が増加傾向にある。 ・限られた予算内で実施しており、必要箇所でも実施できない路線が多くあり、今後は、ますますその傾向が強くなる。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	今後も必要箇所におけるロードマークの設置を行っていく	目標 事業を実施することにより、通行車両の安全・安心を確保する
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 今後も、摩耗した道路の中心線及び外側線等の復旧工事又は必要に応じ新設工事を行う。
【3次評価】		継続	

事務事業名 消費者行政推進事業

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部市民サービスG
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	4	安全な消費生活の確保	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	消費者対策の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	消費者意識の啓発及び学習機会の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市民の消費者としての権利及び利益を保護し、もって消費生活の安定と向上を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 消費生活に関する相談先として消費生活センターを周知し、多くの市民に消費生活に関する知識を得てもらう。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・消費生活相談に対応するため、消費生活センターにおいて相談業務を実施する。 ・町内会や老人クラブ等を対象とした出前講座を実施する。 ・市内において、消費者被害防止及び消費生活センター周知の街頭啓発を実施する。 ・規格、表示の適正化を図るため、登別消費者協会へ業務委託を行い、商品試買量目調査を実施する。 ・多様な消費生活相談に対応すべく、北海道等が主催する研修へ消費生活相談員を派遣する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市消費生活条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 消費者及び事業者

名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金		千円					
道支出金	北海道消費者行政活性化事業補助金	千円	522	428	520	364	418
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	119	104	198	183	302
合計			641	532	718	547	720

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 出前講座の開催等により消費生活への意識啓発を行うほか、試買量目調査を登別消費者協会へ委託した。 【事業内容】 ・町内会や老人クラブ、介護事業者等を対象とした出前講座を実施した。 ・ショッピングセンターにおいて、消費者被害防止及び消費生活センター周知の街頭啓発を年4回実施した。 ・市民サービスグループだよりを発行し、消費生活に関する意識啓発を行った。(年9回発行) ・消費生活センターにおいて、消費生活相談を実施した。 ・登別消費者協会へ業務委託を行い、商品試買量目調査を年2回実施した。 ・多様な相談に対応するため、消費生活相談員を北海道立消費生活センター等が主催する研修へ派遣した。 ・高齢者等の消費者被害を防止するため、登別市消費者被害防止ネットワークを設置した。						
	指標		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	消費生活相談件数		件	203	164	157	191	300
出前講座及び啓発活動実施回数		回	22	24	35	30	30	
消費生活相談の解決率		%	100	100	100	100	100	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 街頭啓発を実施した際の消費生活センターの認知度が低かったため、より一層の周知に努める必要がある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	出前講座や街頭啓発を通し、相談先である消費生活センターをより一層周知する。	目標 消費生活に関する相談先として消費生活センターを周知し、多くの市民に消費生活に関する知識を得てもらう。 計画 ・消費生活相談に対応するため、消費生活センターにおいて相談業務を実施する。 ・町内会や老人クラブ等を対象とした出前講座を実施する。 ・ショッピングセンター等において、消費者被害防止及び消費生活センター周知の街頭啓発を実施する。 ・規格、表示の適正化を図るため、登別消費者協会へ業務委託を行い、商品試買量目調査を実施する。 ・多様な消費生活相談に対応すべく、北海道等が主催する研修へ消費生活相談員を派遣する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
【3次評価】	継続		

事務事業名 消費生活展開催補助金

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部市民サービスG
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 11 年度
施策	4	安全な消費生活の確保	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	消費者対策の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	消費者意識の啓発及び学習機会の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	消費生活展の開催を支援することにより、消費生活に関する知識の向上を図り、消費生活の安定と向上を図ることを目的とする。	前回評価	改善
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民が関心を持っていただける消費生活展の開催ができるよう支援する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 消費生活展を開催する登別消費者協会に対し、その開催に要する経費の一部を補助する。 消費生活展開催予定内容・開催日 平成28年10月(予定) ・開催場所 市民会館中ホール(予定) ・展示コーナー、体験コーナー、試食コーナー等の設置 移動消費生活展予定内容・開催日 平成28年11月(予定) ・開催場所 鷺別公民館(予定)	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市消費生活条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別消費者協会

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金	北海道消費者行政活性化事業補助金		千円	300	300	300	300	300
地方債			千円					
その他			千円					
一般財源			千円					
	合計			300	300	300	300	300

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 消費生活展を開催する登別消費者協会に対し、その開催に要する経費の一部を補助した。 【消費生活展開催実績】 ・開催日：平成28年10月14日(金)・15日(土) ・開催場所：登別市民会館中ホール ・テーマ：安全・安心な「暮らし」をもとめて ・実施内容：展示コーナー 燃料価格調査の結果、古傘の布を活用したマイバッグ・エプロンの展示 消費者協会1年間の活動実績 体験コーナー 紙すき・絵手紙作成体験、ペットボトルを利用した小物作り 試食コーナー「地元食材」を活用した料理のレシピ配布、エゾシカ肉入り混ぜご飯 等 【移動生活展】 ・開催日：平成28年11月1日(火)・2日(水) ・開催場所：鷺別公民館 ・実施内容：暮らしの安全に関する啓発活動(消費生活に関するパネル展示及び啓発物品の配布)						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		消費生活展コーナー件数	件	11	12	18	16	15
	消費生活展の参加人数	人	800	750	800	1,100	850	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 消費生活展来場者数の増加を図る必要がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	消費生活の正しい知識を向上させるため、同協会が開催する消費生活展に対し、引き続き補助を行う。	目標 市民が関心を持っていただける消費生活展の開催ができるよう支援する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 消費生活展を開催する登別消費者協会に対し、その開催に要する経費の一部を補助する。
【3次評価】	継続		

事務事業名	登別消費者協会運営助成金
-------	--------------

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部市民サービスG
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	昭和 50 年度
施策	4	安全な消費生活の確保	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	消費者対策の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	消費者相談機能の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	登別消費者協会の活動を支援することにより、消費生活の安定と向上を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

P l a n 概 要	目 標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別消費者協会の円滑な運営を支援する。	
	計 画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 消費生活知識の普及、啓発など、消費者擁護のために活動する登別消費者協会に対して、運営費の一部を助成する。 【登別消費者協会の活動内容】 ・消費者協会だより（消協だより）の発行 ・「くらしの総合講座」（くらしの安全・安心セミナー、食の安全・安心セミナー）の開催 ・消費者大会の開催（10月中旬予定） ・消費者意識の啓発（出前講座、街頭啓発の実施）等	
	根 拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市消費生活条例	対 象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別消費者協会

P l a n D o 事業費（財源内）	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	300	300	300	300	300
	合 計		300	300	300	300	300

D o 事 務 事 業 の 成 果 ・ 改 善 の 状 況	平 成 2 8 年 度	(実績を簡潔に記入してください) 消費生活知識の普及、啓発など、消費者擁護のために活動する登別消費者協会に対して、運営費の一部を助成した。 【登別消費者協会の活動実績】 ・消協だよりの発行 年6回（平成28年5月、7月、9月、12月、平成29年2月）※12月については2回発行 ・「くらしの総合講座」の開催 くらしの安全・安心セミナー一年5回（平成28年6月、7月、9月、10月、11月） 食の安全・安心セミナー一年4回（平成28年6月、8月、11月、平成29年2月） ・消費者大会の開催（開催日：平成29年10月14日（金）） ・消費者意識の啓発（出前講座、街頭啓発の実施）等						
		指 標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		登別消費者協会受け相談件数	件	-	-	-	-	-
		啓発活動開催回数	回	8	9	9	12	30

C h e c k 課 題 等 の 状 況	平 成 2 8 年 度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 出前講座や街頭啓発の充実を図る必要がある。
---	----------------------------	---

評 価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	引き続き、登別消費者協会の運営を支援する。	目 標 登別消費者協会の円滑な運営を支援する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計 画 消費生活知識の普及、啓発など、消費者擁護のために活動する登別消費者協会に対して、運営費の一部を助成する。 【登別消費者協会の活動内容】 ・消費者協会だより（消協だより）の発行 ・「くらしの総合講座」（くらしの安全・安心セミナー、食の安全・安心セミナー）の開催 ・消費者大会の開催（10月中旬予定） ・消費者意識の啓発（出前講座、街頭啓発の実施）等
【3次評価】	継続		

事務事業名 室蘭登別防犯協会連合会助成事業

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部市民協働G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	昭和 53 年度
施策	5	安全安心なまちづくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	防犯対策の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	地域ぐるみ防犯活動の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	住民の防犯意識を高め、犯罪や事故のない安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 安全で安心して暮らせるまちづくりを実現するため、室蘭登別防犯協会連合会の活動を支援する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 犯罪の未然防止と暴力の追放を実現するため、室蘭登別防犯協会連合会に対し室蘭市と共同で事業運営費の一部を助成する。 【室蘭登別防犯協会連合会の事業内容】 防犯対策の調査研究、防犯施設の拡充強化、防犯思想の普及徹底、地域・職域・防犯団体等で行う防犯活動の協力援助、警察の行う防犯活動に対する協力援助、青少年の非行防止及び健全育成、防犯功労者・団体の表彰、関係機関・団体の相互連絡協力、その他目的達成のため必要な事業	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市生活安全条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 室蘭登別防犯協会連合会

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		650	650	650	650	650
	合計			650	650	650	650	650

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 関係機関・団体などと緊密な連携を図り、効果的な地域安全活動を展開して、安全で安心な地域社会の実現のために活動する室蘭登別防犯協会連合会に対し、室蘭市と共同で事業運営費の一部を助成した。 【連合会の事業実績】 ・地域安全ニュースの発行（毎月1回） ※点訳版についても発行した ・登下校時における児童の見守り、あいさつ活動 ・各種街頭啓発（春の地域安全運動、夏の暴力追放運動、全国地域安全運動、歳末特別警戒） ・研修会（実習型防犯教室）の開催（地域安全活動推進委員対象）						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		市内の犯罪発生件数（年間）	件	232	261	206	226	200

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点を記入してください) ・犯罪の未然防止と暴力の追放を実現するため、室蘭登別防犯協会連合会が行う事業の必要性は高まっている。 ・犯罪は、市域に限らず発生することから、室蘭市と連携しながら広域的に犯罪対策を行うことは効果的である。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	今後においても、安全で安心して暮らせるまちづくりを実現するため、室蘭登別防犯協会連合会の活動を支援していく。	目標 安全で安心して暮らせるまちづくりを実現するため、室蘭登別防犯協会連合会の活動を支援する。 計画 犯罪の未然防止と暴力の追放を実現するため、室蘭登別防犯協会連合会に対し室蘭市と共同で事業運営費の一部を助成する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
【3次評価】	継続		

事務事業名 登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会助成事業

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部市民協働G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 元 年度
施策	5	安全安心なまちづくり	終了年度	平成 一 年度
基本的な方向	1	防犯対策の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	地域ぐるみ防犯活動の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市内から暴力を追放・排除し、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 安全に安心して暮らせるまちづくりを推進するため、登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会の活動を支援する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会に事業費の一部を助成する。 【協議会の事業内容】 各種広報・啓発活動の実施、啓発看板・旗・チラシ等の作成、幌別地区手づくり祭りの支援	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市生活安全条例、登別市暴力団の排除の推進に関する条例	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		500	500	500	500	500
	合計			500	500	500	500	500

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 暴力追放のために活動する登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会に対し、事業運営費の一部を助成した。 【協議会の事業実績】 ・登別市、各関係機関等との連携により、市内各地区での啓発活動の実施（巡回街頭啓発、歳末防犯パトロール等） ・各種広報、啓発看板や旗の設置、啓発チラシの配布 ・暴力団参入排除活動として幌別地区手づくり祭りの支援						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		暴力団による被害の相談件数	件	0	0	0	0	0

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 市内から暴力を追放・排除するため、暴力追放運動推進団体連絡協議会が行う事業の必要性は高まっている。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	市内から暴力を追放・排除し、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進するため、登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会の活動を継続して支援していく。	目標 安全に安心して暮らせるまちづくりを推進するため、登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会の活動を継続して支援する。 計画 登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会に事業費の一部を助成する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
【3次評価】	継続		

事務事業名 防犯灯設置費補助事業

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部市民協働G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	昭和 43 年度
施策	5	安全安心なまちづくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	防犯対策の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	地域ぐるみ防犯活動の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	防犯灯の設置を促進することにより、犯罪を未然に防止し、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 省エネルギー型への移行を促進し、CO ₂ の削減及び、町内会等と市の経費削減を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 【28年度省エネルギー型防犯灯工事予定基数】 ・新設 9基 ・改修 400基 ・補修 0基	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市町内会等の補助金等の交付に関する規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 各町内会等

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	13,556	13,556	13,556	13,593	15,000
合計			13,556	13,556	13,556	13,593	15,000

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 各町内会等が新設・改修・補修する防犯灯の費用について、1基に係る工事費の3分の2以内（省エネルギー型以外の電灯は上限額3万円、省エネルギー型灯は上限額5万円）を補助した。 【新設・改修・補修の内訳】 ※59町内会等（町内会58、地区連合町内会1） ・新設 315,900円（9基） ・改修 13,276,800円（439基） ・補修 0円（0基）						
	指標		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	防犯灯設置数（当該年度内の新設・改修・補修の数）		基	299	381	440	448	380

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 町内会の予算の都合上、省エネルギー型灯への移行に消極的な町内会が一部あるため、再度省エネルギー型灯のメリットを理解してもらい、移行を促す必要がある。 また、平成30年度から省エネルギー型灯の補助上限額を3万円に戻すこととしているため、町内会等への説明が必要となる。
-----------------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	今後も、町内会等に対して、新設・改修・補修に係る費用の一部を補助していく。	目標 省エネルギー型への移行を促進し、CO ₂ の削減及び、消費電力の抑制を通じ、町内会等と市の電気料削減を図る。 計画 ・各町内会等が新設（改修含む）・補修する防犯灯の費用について、1基に係る工事費の3分の2以内を補助する。 ・町内会等へ、省エネルギー型灯の補助上限額が、平成30年度より一律3万円になる旨の周知を行う。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	
【3次評価】	継続		

事務事業名 社会を明るくする運動登別地区推進委員会負担金

区分	No.	名称	部・グループ	保健福祉部社会福祉G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	昭和 53 年度
施策	5	安全安心なまちづくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	防犯対策の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	地域ぐるみ防犯活動の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深めることにより、犯罪のない明るい社会の構築を目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 社会を明るくする運動登別地区推進委員会が行う犯罪防止に関する啓発活動経費の一部を負担することにより、犯罪のない明るい社会の構築に向けた取組を推進する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・第66回社会を明るくする運動登別地区推進委員会負担金を交付する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 社会を明るくする運動登別地区推進委員会規約	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 社会を明るくする運動登別地区推進委員会

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	180	180	180	180	180
合計			180	180	180	180	180

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・社会を明るくする運動登別地区推進委員会が行う犯罪防止に関する啓発活動経費の一部を負担し、その活動を支援した。 ※推進委員会には、登別市内の団体（交通安全協会、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、保護司会）がそれぞれ事業費を負担している。 【社会を明るくする運動登別地区推進委員会の主な事業】 メッセージ伝達式、啓発活動、地域住民との懇談会、社会を明るくする運動作文・標語募集、子ども育成者懇談会、公開ケース研究会						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		社会を明るくする運動参加者数	人	397	364	474	679	600

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・社会を明るくする運動登別地区推進委員会が行う啓発活動経費の一部を負担したことにより、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生への市民の理解が深まるなど、犯罪のない明るい社会の構築に寄与している。
--------	--------	---

評価	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
【1次評価】	担当グループ	社会を明るくする運動登別地区推進委員会が行う犯罪防止に関する啓発活動経費の一部を負担することにより、犯罪のない明るい社会の構築に向けた取組を推進する。 ・第68回社会を明るくする運動登別地区推進委員会負担金を交付する。 ※平成29年度は既に負担金を交付済みであることから、平成30年度事業の計画を記載
継続	・犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪のない明るい社会を構築するため、今後も社会を明るくする運動推進委員会の活動を支援する。	
【2次評価】	行政評価会議及び総合	
継続		
【3次評価】		
継続		

事務事業名 登別地区保護司会補助金

区分	No.	名称	部・グループ	保健福祉部社会福祉G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	昭和 45 年度
施策	5	安全安心なまちづくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	防犯対策の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	地域ぐるみ防犯活動の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	罪を犯した人たちの更生を支援するとともに、犯罪予防の啓発に努めることにより、明るい社会が実現することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 罪を犯した人たちの更生や犯罪予防の啓発を行う登別地区保護司会の活動を支援することにより、地域ぐるみの防犯活動を推進する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・平成27年度更生保護事業に係る補助金の実績報告書等により補助金が適正に処理されているか審査し、補助金額を確定する。 ・平成28年度更生保護事業に係る補助金の交付申請書等を審査し、交付決定する。 ・交付決定に基づいた請求に対し、補助金を交付する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 保護司法、更生保護法	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 登別地区保護司会、保護司（保護司法）

事業費（財源内訳）	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	250	250	250	250	250
合計			250	250	250	250	250

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 登別地区保護司会に対して、活動に要する経費の一部を補助した。 【主な事業内容】 ・保護司活動充実のための研修会や情報交換 ・街頭啓発や補導活動等による犯罪予防活動の推進 ・就労支援等更生援助活動の推進					
	指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	各種研修会の参加延人数（年度ベース）	人	245	254	253	270	300

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・登別地区保護司会に対して、活動に要する経費の一部を補助することにより、罪を犯した人たちの更生の支援、犯罪予防の啓発が図られている。
--------	--------	--

評価	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
【1次評価】	担当グループ	目標 罪を犯した人たちの更生や犯罪予防の啓発を行う登別地区保護司会の活動を支援することにより、地域ぐるみの防犯活動を推進する。 計画 ・平成29年度更生保護事業に係る補助金の実績報告書等により補助金が適正に処理されているか審査し、補助金額を確定する。 ・平成30年度更生保護事業に係る補助金の交付申請書等を審査し、交付決定する。 ・交付決定に基づいた請求に対し、補助金を交付する。 ※平成29年度は既に補助金を交付済みであることから、平成30年度事業の計画を記載
継続	・罪を犯した人たちの更生の支援、犯罪予防の啓発を図るため、今後も登別地区保護司会の活動を支援する。	
【2次評価】	行政評価会議及び総合	
継続		
【3次評価】		
継続		

事務事業名 戦没者追悼式関係経費

区分	No.	名称	部・グループ	保健福祉部社会福祉G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	昭和 46 年度
施策	5	安全安心なまちづくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	防犯対策の推進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	平和なまちづくりの推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	戦没者の霊を慰め、追悼することで二度と惨禍の起こる事のない平和な社会を維持することを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要 Plan	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 戦没者追悼式の実施を通して、戦没者の霊を慰めるとともに、遺族及び市民の平和への意識を醸成する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・遺族等への案内発送や広報への掲載を通して市民に実施の周知を行う。 ・遺族等の交通手段を確保し、より多くの市民が参加できるようにする。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 戦没者の関係者及び一般市民

事業費(財源内訳) Plan↓Do	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		432	432	453	453	434
合計				432	432	453	453	434

事務事業の成果・改善の状況 Do	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・国や北海道が行っている戦没者追悼式に準じて、戦没者遺族をはじめ関係者の参列のもと、市が式典を実施し、本市出身の戦没者の霊を慰め追悼し平和を祈念した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		戦没者追悼式参列者数	人	83	80	78	68	70

課題等の状況 Check	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 遺族等の高齢化が進み、参加者が年々減少している。
-----------------	--------	--

評価	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
【1次評価】	担当グループ	目標 戦没者追悼式の実施を通して、戦没者の霊を慰めるとともに、遺族及び市民の平和への意識を醸成する。 遺族等への案内発送や広報への掲載を通して市民に実施の周知を行う。 遺族等の交通手段を確保し、より多くの市民が参加できるようにする。
改善	遺族等のみではなく、一般市民の参加が増えるように周知の仕方を工夫する。	
【2次評価】	行政評価会議及び総合	
改善		計画
【3次評価】		
改善		

事務事業名	無料法律相談委託業務
-------	------------

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部市民サービスG
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 元 年度
施策	6	心配ごと・困りごとの解消	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	市民相談の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	市民相談体制の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市民生活における法律上の諸問題を解決し、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要 Plan	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 多くの市民に活用していただくよう、無料法律相談の実施を周知する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・月に1回、鉄南ふれあいセンターにおいて無料法律相談を実施する。 ・毎月発行の広報紙にて無料法律相談実施の周知を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 札幌弁護士会室蘭支部

事業費(財源内訳) Plan/Do	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	195	195	195	195	195
	合計		195	195	195	195	195

事務事業の成果・改善の状況 Do	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 交通事故や金銭貸借、損害賠償などに関する法律問題を解決するため、札幌弁護士会室蘭支部に相談業務を委託し、鉄南ふれあいセンターにおいて月定員6名の無料法律相談を実施し、年間44件の相談があった。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		無料法律相談利用件数	件	52	42	36	44	72

課題等の状況 Check	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 申込者数が定員に満たない月があるため、周知を行う必要がある。
-----------------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	広報紙のほか、市民サービスグループだよりを活用し周知を行う。	目標 多くの市民に活用していただくよう、無料法律相談の実施を周知する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ・月に1回、鉄南ふれあいセンターにおいて無料法律相談を実施する。 ・毎月発行の広報紙等により無料法律相談実施の周知を行う。
【3次評価】	継続		

事務事業名 **空家等対策事業**

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部都市政策G
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成28年度
施策	6	心配ごと・困りごとの解消	終了年度	平成—年度
基本的な方向	1	市民相談の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	市民相談体制の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	空家等対策の推進に関する特別措置法及び登別市空家等対策計画に基づき、空家等の発生抑制対策、適切な管理対策、利活用対策を推進することにより、市民が安全に安心して暮らすことができるまちとすることを目的とする。	前回評価
----	--	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 空家等対策を総合的かつ計画的に推進するため、計画書の策定や体制の整備、補助制度の創設などを行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・登別市空家等対策計画の策定 ・登別市空家等対策審議会条例の制定 ・登別市空家等対策事業補助金交付要綱の制定 ・庁内連携体制の構築 ・平成27年度に把握した空家等の所有者等へのアンケート調査及びH28年度空家等実態調査の実施	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 空家等対策の推進に関する特別措置法、同法施行令	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 建物の所有者及び管理者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円					1,647	
合計				0	0	0	0	1,647

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 空家等への通報への対応、計画書の策定、条例の制定、補助金の創設などを行った。 ○平成29年3月に登別市空家等対策計画を策定。 ○平成29年3月に登別市空家等対策審議会条例を制定（平成29年3月30日公布） ○平成29年3月31日に登別市空家等対策事業補助金交付要綱を制定 ・特定空家等の除却工事に係る経費の一部を補助 ○庁内連携体制を構築 ○平成28年10月に空家等の所有者等へアンケート調査を実施。 ・対象239件→回答118件（回答率49%） ○平成29年1月に平成28年度空家等実態調査の実施						
	指標		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	前年度把握した空家等の利活用及び除却件数		棟			0	46	57

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点を記入してください) 空家等対策を推進する上で、次の事項が課題となった。 ・金銭的理由、相続の問題により空家等の解消が進まず、増加する一方である。 ・所有者等が存在しないなど問題の複雑化により対応が困難な状態の空家等の増加。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ ・登別市空家等対策審議会の立ち上げ。 ・パンフレットによる情報提供及び空家等に対する意識の啓発。 ・特定空家等の判断基準の策定及び特定空家等の認定。 ・登別市空家等対策事業補助金の交付事務の実施。 ・団体との連携による空家等の利活用の促進に向けた取組。	今後の目標・計画【Plan】
	継続	行政評価会議及び総合	目標 空家等対策を総合的かつ計画的に推進するため、空家等の発生抑制対策、適切な管理対策、利活用対策の検討・実施、危険な空家等である特定空家等への対策を進める。
	【2次評価】		計画 ・左記の「今後の取組」を実施する。 ・空家等実態調査を実施し新たな空家等の把握に努める。 ・利活用に関する補助制度の検討。
【3次評価】	継続		

事務事業名 **難視聴地域への情報提供事務**

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部市民サービスG
章	2	自然とともに暮らすまち	会計種別	一般会計
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり	開始年度	平成 ー 年度
施策	6	心配ごと・困りごとの解消	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	市民相談の充実	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	市民相談体制の充実	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	難視聴改善に向けた取組を行うことを目的とする。	前回評価	
----	-------------------------	------	--

概要 Plan	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民の利便性の確保や災害等緊急時放送の受信状態を維持する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ○市民から放送受信状態等の相談を受けた際、現地確認を実施する。 ○難視聴地域の受信状態を放送事業者に依頼し、現地調査を実施する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民

事業費(財源内訳) Plan/Do	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円					
	合計		0	0	0	0	0

事務事業の成果・改善の状況 Do	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 地上デジタル放送の開始に伴う難視聴改善依頼を受けた際、改善に向けた現地確認や調査等の対応を行った。また、総務省や関係機関等から難視聴に係る情報提供を受けた際は、難視聴地域住民のみではなく、市民全体への周知を行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

課題等の状況 Check	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ○暴風雪や夏期間の葉の生い茂りによる電波遮断のため、受信状態が不安定になる地域があった。
-----------------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	○引き続き、市民の利便性の確保や災害等緊急時放送の受信状態を維持するため、現地確認や現地調査を実施する。	目標 市民の利便性の確保や災害等緊急時放送の受信状態を維持する。
	【2次評価】	行政評価会議及び総合	計画 ○市民から放送受信状態等の相談を受けた際、現地確認を実施する。 ○難視聴地域の受信状態を放送事業者に依頼し、現地調査を実施する。
【3次評価】	継続		